

起 工 伺	副 市 長	総務部長	建設部長	下 水 道 長 課	建設係	検 算	設 計 者	設 計 第 221 号	
								令 和 年 月 日	
								所属年度	令和 7 年度
合 議								会計	
								款	
								項	
	<div>三 次 市 畠 敷 町 地 内</div> <div>公 共 下 水 道 事 業 (公 0 7 - 4 - 5)</div> <div>畠 敷 2 号 マ ン ホ ー ル ポ ン プ 設 置 工 事 仕 様 書</div>							目	
事項									
節									
工 事 概 要							起 工 理 由		
備 考									

位置図



(公07-4-5 マンホールポンプ設置)

数量総括表 (MP)

[illegible]

特記仕様書

第 1 章 総 則

第 1 節 適 用

- 1 本特記仕様書は、設計第221号 公共下水道事業(公07-4-5) 畠敷2号マンホールポンプ設置工事 に適用する。
- 2 本特記仕様書に記載のない事項については、次によるものとする。
 - ・土木工事共通仕様書 (令和6年8月 広島県)
 - ※土木工事共通仕様書は「広島県の調達情報」に掲載されている。
URL:<http://choutatsu.pref.hiroshima.lg.jp/>
 - ・その他関連規格類

第 2 節 中間検査

請負金額 2, 0 0 0 万円以上の工事は、中間検査の対象とする。
中間検査の実施は、工事の主要工程等を考慮し、施工上の重要な変化点等で行うこととし、時期選定は監督職員が行う。
原則として、請負代金額が 2, 0 0 0 万円以上 2 億円未満の工事は、中間検査を 1 回実施し、 2 億円以上の工事は 2 回実施する。

第 3 節 主任技術者の配置要件等

広島県共通仕様書1-1-3-2 現場代理人及び主任技術者又は監理技術者「5. 配置要件」及び「6. 誓約書」については、入札条件又は入札公告に定める配置技術者の兼務の要件に従うこと。

第 4 節 法定外の労災保険の付保

- 1 本工事において、受注者は法定外の労災保険に付さなければならない。
- 2 受注者は、建設工事請負契約約款第47条に基づき、法定外の労災保険の契約締結したときは、その証券又はこれに代わるものを速やかに監督職員に提示しなければならない。
- 3 法定外の労災保険は、政府の労働災害補償保険とは別に上乗せ給付等を行うことを目的とするものであり、（公財）建設業福祉共済団，（一社）建設業労災互助会，全日本火災共済協同組合連合会，（一社）全国労働保険事務組合連合会又は保険会社との間で、労働者災害補償保険法に基づいて契約を締結しているものとする。

第 2 章 施工条件

第 1 節 工 程

1 関連する別途工事

工 事 名	公共下水道事業(公07-4-1) 管渠布設工事【開削1工区】
影 響 箇 所	市道八次42号線
他 工 事 の 内 容	圧送管布設
時 期	令和7年8月 から 令和8年1月（予定）

第 2 節 その他

1 用排水関係

- 1 隣接する土地，施設からの用排水については，事前に高さ等の調査を行い，従前の機能を損なわないようにすること。
- 2 農業用排水路の移設や仮水路を施工する際には，施工時期等について水路関係者と調整を行い実施すること。
- 3 工事により生じた排水を農業用排水路へ流す際は，水路関係者に承諾を得ること。

第 3 章 その他

- 1 本特記仕様書及び設計図書に明示していない事項または，その内容に疑義が生じた場合は，監督職員の指示を受けること。
- 2 工事着手前に漁業組合と協議を行い，同意書等の承諾を得ること。
- 3 試験堀り箇所については監督職員と協議を行い決定すること。
- 4 本工事は週休 2 日制工事（受注者希望型）であり，「三次市週休 2 日制工事実施要領」に基づき実施すること。
- 5 工事期間中は，道路表面の状態をよく確認して適宜補修する等，適切な維持管理を行うこと。
- 6 マンホールポンプ制御盤の嵩上げについては検討中であるため，監督員と協議を行うこと。

三次市畠敷町
畠敷2号マンホールポンプ設置工事

機械・電気設備

仕 様 書

目 次

第 1 章	総 則
1-1	適 用 範 囲
1-2	一 般 事 項
1-3	納 品 図 書
1-4	検 査
1-5	材 料 保 管
1-6	保 証 期 間
第 2 章	ポンプ設備
2-1	水中汚水ポンプ
2-2	逆 止 弁
2-3	止 水 弁
2-4	止 水 弁
2-5	可 と う 管
2-6	付 帯 設 備
2-7	複 合 工
第 3 章	電気設備
3-1	盤 共 通 事 項
3-2	制 御 盤
3-3	水 位 計
3-4	監 視 装 置
3-5	ポンプ運転制御
3-6	複 合 工
第 4 章	据付工事
4-1	据付工事概要
4-2	ポンプ設備工事
4-3	電 気 設 備 工 事

第 1 章 総 則

1-1. 適用範囲

本仕様書は、分流式下水道の雨水を除く汚水用として、除じん設備がなく組立式マンホールの中に水中汚水ポンプを 2 台設置した「三次市 畠敷 2 号マンホールポンプ設置工事」に適用する。

1-2. 一般事項

1. 本仕様書に特に定めていない事項については監督員との打合せによるものとする。
2. 請負者は、工事施工にあたり諸法規を遵守しなければならない。
 - (1) 労働基準法
 - (2) 労働安全衛生法
 - (3) 建設業法
 - (4) 公害対策基本法
 - (5) 水質汚濁防止法
 - (6) 大気汚染防止法
 - (7) 悪臭防止法
 - (8) 下水道法
 - (9) 電気事業法
 - (10) 道路交通法
 - (11) 騒音規制法
 - (12) その他関係法令、条例
3. 請負者は、工事施工にあたり諸規格に準拠しなければならない。
 - (1) 日本工業規格（JIS）
 - (2) 日本電機工業会標準規格
 - (3) 建設業法
 - (4) その他関連の規格
4. 工事施工に必要な関係官公庁、その他の者に対する諸手続きは、監督員の承諾を得、請負者において迅速に処理するものとする。

1-3. 納品図書

1. 納品図書は、製作仕様書、外形図、構造図、据付図、電気結線図、及びその他の必要な図面より成り、各 3 部（返却用 1 部を含む）提出するものとする。
2. 納品図書に訂正があれば、その部分を明示した訂正納品図書を、前記要領で再提出するものとする。

1-4. 検査

製作工場においてポンプは JIS B 8301、JIS B 8302 に基づき、組立完成後に性能試験を行い、制御盤は耐圧試験、動作試験を行うものとする。

現地において総合試運転を実施し、正常な運転が行われていることを確認するものとする。

1-5. 材料保管

工事の竣工まで機器、材料の保管の責任は請負者にあるものとする。

1-6. 保証期間

1. 機器の保証期間は規定による引渡しを受けた日から 1 箇年とする。
2. 保証期間内に明らかに請負者の設計、製作、施工の不備に起因する故障が生じた場合は、請負者の責任において直ちに修理または取替えをしなければならない。

第2章 ポンプ設備

2-1. 水中汚水ポンプ

1. 使用目的

流入する汚水を圧送又は揚水するものである。

2. 仕様

項目	仕様	備考
(1) 形式	改良型ノンクロックタイプ	着脱装置 吸込ベルマウス 付 予旋回槽
(2) 口径	65 mm	
(3) 吐出量	0.300 m ³ /min	
(4) 全揚程	9.1 m	
(5) 効率	メーカーによる	
(6) 回転速度	1800 min ⁻¹	
(7) 使用材料	ケーシング：FC200 以上(着脱曲胴含む) 主 軸：SUS420J2 羽根車：SCS13	
(8) 電動機出力	1.5 kW	
(9) 周波数	60 Hz	
(10) 電 圧	三相 200 V	
(11) 絶 縁 階 級	F 種	
(12) 水中ケーブル長	20 m	
(13) 数 量	2 台	

3. 構造概要

本ポンプは汚水を移送するもので、汚水中において連続運転に耐える堅ろうな構造とする。また、振動や騒音が少なく、円滑に運転できるとともに有害なキャビテーション現象が発生しないような構造とする。

4. 製作条件

- (1) 最大通過粒径は 65mm とする。
- (2) 気中にて 30 分連続運転が可能なものとする。
- (3) ポンプは日本下水道新技術機構の審査証明技術認定品であること。

5. 各部の構造

(1) ケーシング

- 1) ケーシングは内部圧力および振動等に対する機械的強度ならびに腐食・摩耗を考慮した良質の鋳鉄製品とする。
- 2) ケーシングは分解組立が容易にできる構造とする。

(2) 羽根車

- 1) 羽根車は吸込み流路を螺旋形状とし、回転中心の低圧部に異物が詰まりにくい構造とすること。
- 2) 羽根車は良質強靱な製品とし、固形物の混入に対し堅牢であること。また、羽根車は平衡を十分取るとともに表面を滑らかに仕上げること。

(3) 主 軸

主軸は電動機軸を延長したもので伝達トルクおよび振り振動に対しても十分な強度を有すること。

(4) 軸封装置

軸封部にはメカニカルシールを用い、運転中あるいは停止中を問わず、異物がモータ内に侵入しないよう中間に油を密封した二段構造とする。

(5) 軸 受

回転部重量および水カスラストは電動機に内装した軸受で支持するものとし、長時間の連続運転に耐え、円滑な自己潤滑ができる構造とする。

(6) フランジ

配管との接続フランジ穴あけ規格は、JIS B 2239 に準じること。また、ポンプます内配管および分解用フランジのボルト、ナットは SUS304 とする。

6. 保護装置

異常温度上昇を検知するオートカットを内蔵すること。

7. 塗 装

鋳鉄部等、塗料による防食処理が必要な箇所は、エポキシ樹脂系塗料で膜厚 0.2mm 以上の塗装を施すものとする。

8. ポンプ付属品 (1 台につき)

- | | |
|------------------------|-----|
| (1) 水中ケーブル | 1 式 |
| (2) 吊り上げ用チェーン (SUS304) | 1 式 |
| (3) ポンプ着脱装置 (FC200 以上) | 1 式 |
| (ガイドパイプ等要部 SUS304) | |
| (4) 基礎ボルト、ナット (SUS304) | 1 式 |
| (5) 吸込ベルマウス (SUS304) | 1 個 |

9. 予旋回槽

(1) 概 要

浮遊物や沈殿物を巻込んで排出させるために、ポンプの吸込流れを利用して渦流を発生させる構造とする。

(2) 仕 様

形 式	分割組立式予旋回槽
材 質	FRP
形 状	2 号（φ1200）用
数 量	1 槽

10. 空気抜弁

(1) 概 要

本弁は、ポンプ吐出管に設け管内の空気を排出しポンプのエアロックを防止するためのものである。

(2) 仕 様

設 置 場 所	ポンプ吐出管
弁 体	SCS13
フ ロ ー ト	エボナイト
数 量	2 台

2-2. 逆止弁

1. 使用目的

ポンプ吐出側に設け、ポンプ停止時の逆流を防止するものである。

2. 仕 様

項 目	仕 様	備 考
(1) 形 式	ボール式	
(2) 口 径	φ 65 mm	
(3) 使 用 水	汚水	
(4) フ ラ ン ジ 規 格	JIS 10K	
(5) 数 量	2 台	

3. 構造概要

本弁は、水中汚水ポンプの吐出側に取付け、停電その他によりポンプが急停止した場合、流水の逆流を防止するために設置するもので、作動確実にして耐久性を有するものとする。

4. 製作条件

- (1) 本弁はポンプ停止時の流水の逆流を防止するため、強い衝撃に耐え、堅ろうな構造とする。
- (2) 開閉動作は円滑に行えること。

5. 各部の構造

- (1) 本弁は両フランジ形ボール式構造とする。ケーシングは良質なステンレス鋳鋼製(SCS13)とし、腐食および摩耗を考慮すること。
- (2) 弁体は耐摩耗性、耐衝撃性を有するゴムを使用し、正確に閉止が行い得るものとする。

6. 使用材料

- (1) 弁 箱 ステンレス鋳鋼 (SCS13)
- (2) 弁 体 合成ゴム (ボール式)

2-3. 止水弁

1. 使用目的

主ポンプの吐出側に設け、止水を行うものである。

2. 仕 様

項 目	仕 様	備 考
(1) 形 式	ボール式	
(2) 口 径	φ 65 mm	
(3) 使 用 水	汚水	
(4) フ ラ ン ジ 規 格	JIS 10K	
(5) 数 量	2 台	

3. 構造概要

本弁は、止水を行うために設置するもので、作動確実にして耐久性を有するものとする。

4. 製作条件

- (1) 本弁はボール式止水弁とする。
- (2) 開閉動作は円滑に行え、閉鎖時には漏水のない十分な機能を有すること。

5. 各部の構造

各部の構造はつぎによる。

- (1) 本弁は両フランジ形ボール式構造とする。
- (2) 弁箱の鋳造品は、鋳巣、歪等のない良質のステンレス鋳鋼製（SCS13）で十分な肉厚をもち、強度剛性を有するものとする。

6. 使用材料

- | | | |
|---------|---------|----------|
| (1) 弁 箱 | ステンレス鋳鋼 | (SCS13) |
| (2) 弁 体 | ステンレス鋼 | (SUS304) |

2-4. 可とう管

1. 使用目的

ポンプ井出口と圧送管の間に取付け、不当沈下、温度変化等による圧送管の破損及び振動や騒音の発生を防ぐために設けるものである。

2. 仕 様

項 目	仕 様	備 考
(1) 設 置 場 所	地中埋設	
(2) 形 式	フランジ式	
(3) 寸 法	100A×350L	
(4) 偏 心 量	100 mm	
(5) 数 量	1 個	

3. 製作条件

汚水の圧送管に設けるため衝撃に耐える堅牢な構造とし、腐食磨耗に耐えるよう肉厚等を十分に考慮すること。

4. 各部構造

天然・合成ゴム及び補強コード、補強リングの組合せにより、耐圧、偏心量、腐食磨耗を十分に考慮すること。

2-5. 槽内配管

1. 本工事で施工する配管の範囲は、下記の通りとする。

配 管 名 称	口 径	管 種	施 工 範 囲	備 考
槽 内 配 管	φ 65～φ 100	SUS	ポンプ吐出口 ～圧送管取合部	

2. 配管材料

- (1) 一般的配管材料を下表に示す。

呼 称	規 格			備 考
	番 号	名 称	記 号	
鋳 鉄 管	JSWAS G-1	下水道用ダクタイル鋳鉄管	DCIP	圧送管
	JIS G 5526	ダクタイル鋳鉄管 K 形	DCIP	圧送管
	JIS G 5527	ダクタイル鋳鉄管異形管 K 形	DCIP	ポンプ吐出管
鋼 管	JIS G 3452	配管用炭素鋼鋼管	SGP-黒	燃料配管排気管等
ステンレス 鋼 管	JIS G 3459	配管用ステンレス鋼鋼管	SUS-TP	水配管
樹 脂 管	JIS K 6741	硬質塩化ビニル管	VU	脱臭配管等
	JIS K 6742	水道用硬質塩化ビニル管	VP	

- (2) ダクタイル鋳鉄管は、(社)日本下水道協会規格 (JSWAS) 及び日本工業規格 (JIS) に定められた製品を選定する。

- (3) 鋼管等は、日本工業規格 (JIS) に定められている製品を使用する。

2-6. 付帯設備

本工事で施工する鋼製加工品類の範囲は、下記の通りとする。

用 途	数 量	形 式	形 状 ・ 寸 法	材 料	備 考
流入バップル	1 組	鋼板加工	φ 250 用 L=1000	SUS304	PL2t
流入バップル	1 組	鋼板加工	φ 200 用 L=1800	SUS304	PL2t
流入バップル	1 組	鋼板加工	φ 200 用 L=3100	SUS304	PL2t

2-7. 複合工

本工事で施工する複合工の範囲は、下記の通りとする。

工 種	数 量	形 状 ・ 寸 法	材 料	備 考
圧送管貫通工	1 カ所	φ 250	無収縮モルタル	
予旋回槽底部コンクリート工	1 カ所	φ 1200	無筋コンクリート	

第3章 電気設備

3-1. 盤共通事項

1. 制御盤概要

- (1) 盤の主要構造材料は、収納機器の重量、作動による衝撃などに十分耐える強度を有するものとする。
- (2) ドアには鍵を設ける。
- (3) 屋外形は防雨性を有し、雨水のたまらない構造とする。
- (4) 盤類の形状及び寸法は、設計図を参照し、納品図書において決定するものとする。
- (5) 自動通報・監視装置を設ける。(スタンド形は除く)
- (6) 停電時対応として自家発電機接続用端子を設ける。

2. 主回路

- (1) 主回路の電圧は交流 200V とする。
- (2) 主回路に用いる母線及び接続導体は銅を使用し、規定の条件のもとに定格電流及び定格短時間電流を流しても十分にこれに耐えるものとする。
絶縁電線を用いる場合は原則として 600V ビニル絶縁電線 IV (JIS C 3307)
または、電気機器用ビニル絶縁電線 KIV (JIS C 3316) を使用するか、または、同等品以上とする。

3. 制御回路

- (1) 制御電源は主回路より分岐する。
- (2) 制御回路に用いる電線は原則として 600V ビニル絶縁電線 IV (JIS C 3307) または、電気機器用ビニル絶縁電線 KIV (JIS C 3316) に規定されたもので、断面積が 1.25mm^2 以上を使用し、かつ可動部は、十分可とう性があるものとする。ただし、電流容量、電圧降下などに支障がなく保護協調がとれれば細い電線を使用してもよいものとする。
- (3) 電線被覆の色別は、JEM 1122 により下記の色別を行うものとする。

計器用変圧器二次回路	黄色
変 流 器 二 次 回 路	黄色
制 御 回 路	黄色
接 地 回 路	緑色
- (4) 盤内照明や自動通報装置等が 100V 仕様の場合は別途 100V 電源（定額電灯または従量電灯）を引込むものとする。

3-2. 制 御 盤

1. 数 量 1 面
2. 形 式 屋外積算電力計内蔵装柱形
3. 箱体材質 ステンレス鋼板製
4. 寸 法 設計図書を参照し、納品図書において決定するものとする。
5. 器 具 類
 - (1) 配線用遮断器 1 式
 - (2) 漏電遮断器 1 式
 - (3) 電磁接触器 2 個
 - (4) 3E リレーまたはサーマルリレー 2 組
 - (5) 進相コンデンサ 2 個
 - (6) 水位変換ユニット 1 式
 - (7) 交流電圧計 1 個
 - (8) 交流電流計 2 個
 - (9) 補助継電器 (プログラマブルコントロー等も含む) 1 式
 - (10) 運転時間計 2 個
 - (11) 表示灯 1 式
 - (12) タイマー 1 式
 - (13) ヒューズ 1 式
 - (14) 端子台及び内部配線 1 式
 - (15) 切替開閉器 1 式
 - (16) 操作開閉器 1 式
 - (17) 扉開閉ハンドル (鍵付) 1 式
 - (18) 監視装置 1 式
 - (19) 自家発電機接続用端子 1 式
 - (20) 盤内コンセント 1 個
 - (21) その他必要なもの 1 式

3-3. 水 位 計

1. 概 要

水位計の種類は投込式水位計とする。これら水位計の故障時のバックアップ用として、高水位（HHWL）より上の水位（ALWL）にフロートスイッチを1個設けるものとする。

2. 仕 様

(1) 投込式水位計

項 目	仕 様	備 考
形 式	投込圧力式	
数 量	1 台	
電 源	AC100V または AC200V、50Hz または 60Hz	
出 力 信 号	水位出力接点 5 点程度 アナログ水位出力 1 点（DC4～20mA）	
材 質	水位センサ部 SUS304	
精 度	±0.5%FS 以内（水位変換器との組合せ精度）	
付 属 品 (1 台につき)	水位変換器 1 個 専用ケーブル 1 式 吊下チェーン 1 式	変換器は盤内収納

(2) フロートスイッチ（浮子転倒式）

項 目	仕 様	備 考
形 式	フロート式	接点出力
数 量	1 個	
材 質	フロート ポリプロピレン樹脂	

3-4. 監視装置

1. 概 要

設備の異常発生時に、予め設定した通報先へ自動的に異常通報を行う。また、施設の稼働状況を監視し、ポンプ運転回数、槽内水位データの記録を行い、定期的に各種通信端末へ転送する装置である。

2. 仕 様

項 目	仕 様	備 考
取 付 場 所	制御盤内	
環 境 配 慮	鉛フリー化対応	
入 力 点 数	デジタル 17 点以上 アナログ 4 点以上	
データ保持量	運転日報 3 ヶ月分 運転月報 3 ヶ月分 異常履歴 1,000 件 程度 アナログ 32,000 データ／点 程度	
通 信 回 線	携帯電話通信網 au 4G LTE 回線 (800MHz 帯)	
通 報 宛 先	30 宛先以上	
通 報 先 種 別	E メール	第一通報は「音声」とすること
電 源	AC100V または AC200V、50Hz または 60Hz	
停電保障時間	ニッケル水素電池により 2 時間以上	
付 属 品	アンテナ、専用ケーブル	
数 量	1 台	

3-5. ポンプ運転制御

1. 水位による自動運転

マンホール内の水位が運転開始水位（HWL）になると、ポンプ 1 台が自動始動し送水する。その後、水位が停止水位まで低下すると自動停止する。

2. ポンプの運転方法

運転方法は単独交互運転とする。

(1) 単独交互運転

ポンプ 2 台の内 1 台が運転し、残り 1 台は待機する。運転中のポンプが停止水位に到達後、自動停止し、再び水位上昇により運転開始水位（HWL）に達すると待機していたポンプが運転し、停止したポンプは待機状態に入る。以後もこれを繰り返して交互運転する。

(2) 並列交互運転

上記 (1) 単独交互運転機能に加えて、水位が 1 台目運転開始（H1WL）よりさらに上昇し、（H2WL）に達した場合には、2 台目のポンプが追加始動して並列運転を行う。

3. 飛越し運転

運転中にポンプが故障した場合には、待機中のポンプが運転を開始し、故障ポンプが復旧するまで 1 台のポンプで運転を継続する。

4. 異常警報

異常発生時に自動通報・監視装置にて通報する。

警報項目（例）：1 号ポンプ故障

2 号ポンプ故障

異常高水位

停電

3-6. 複合工

本工事で施工する複合工の範囲は、下記の通りとする。

工 種	数 量	形 状 ・ 寸 法	材 料	備 考
電線管貫通工	1 式		無収縮モルタル	
引込柱基礎工	1 ヲ所		鋼管柱	

第4章 据付工事

4-1. 据付工事概要

1. 本工事の施工にあたっては、監督員の指示に従い、本仕様書及び設計図書に基づき、関係法令、規定、基準に準拠し、責任をもって施工しなければならない。さらに作業の安全及び通行人等第三者への災害防止等についても十分に配慮し、安全対策を講じなければならない。
2. 機器の搬入、据付の際は、機器本体、構造物に対して損傷を与えることのないように注意すること。
3. 機器の据付の詳細については、施工図を提出のうえ、監督員の指示を受けること。

4-2. ポンプ設備工事

1. 機器の据付
 - (1) マンホール内のステップとマンホールのセンターを基準にし、正確に墨出しのこと。
 - (2) 着脱バンドの施工は特に水平垂直レベルに留意し、据付後機器の性能に支障をきたすことのないように十分に注意し施工すること。
2. 配管工事
 - (1) 配管の接合は漏水がないように正確、確実に行うこと。
 - (2) 配管の固定は、堅ろうに取付けのこと。

4-3. 電気設備工事

1. 盤の据付
 - (1) 自立形（スタンド形、ポール形を含む）盤は水平に据付くように調整のうえ、アンカーボルトで基礎ベース上に堅ろうに固定すること。
 - (2) 装柱形及び壁掛形盤は所定の金具で柱及び壁に強固に取付けのこと。
2. 電線管工事
 - (1) 電線管は施工場所により、次の管を使用すること。
 - (A) 露出配管 鋼製電線管
ケーブル保護用合成樹脂被覆鋼管
 - (B) 地中配管 波付硬質合成樹脂管
ケーブル保護用合成樹脂被覆鋼管
合成樹脂製可とう電線管
硬質ビニル電線管
 - (C) 接地線用 硬質ビニル電線管（露出、地中とも）
 - (2) 地中電線管部については、ケーブル埋設シートを敷設のこと。

3. 配線工事

(1) 配線は使用目的により次の電線またはケーブルを使用すること。

(A) 電源回路 600V 架橋ポリエチレン絶縁耐燃性ポリエチレンシースケーブル (EM-CE)

600V ポリエチレン絶縁耐燃性ポリエチレンシースケーブル (EM-EER)

(B) 制御回路 制御用ポリエチレン絶縁耐燃性ポリエチレンシースケーブル (EM-CEE)

(C) 接地回路 600V 耐燃性ポリエチレン絶縁電線 (EM-IE) 緑色

(2) 端子への接続

各端子への接続は圧着端子で行うこと。

4. 接地工事

接地工事の接地極には、接地銅板または連結式接地棒を使用し、各種接地抵抗値の基準値内になるように施工すること。

5. 引込受電柱の建柱

低圧電力、定額電灯（または従量電灯）及び電話回線等は、引込受電柱に一括して引込むものとする。建柱位置はマンホール近傍とすることを原則とするが、建柱にあたっては監督員の指示によるものとする。なお、ポール形盤のときは、建柱は不要とする。

令和 7 年度 公 共 事 業

工 事 設 計 書

三次市

工 事 番 号	07-221	摘 要	補 助
幹 線 名 路 線 名 等			
施 工 位 置	三次市畠敷町 地内		
工 事 名	公共下水道事業（公07-4-5）畠敷2号マンホールポンプ設置工事		
工 事 費	金 円也		
工 事 概 要			

積算情報

工事名	公共下水道事業（公07-4-5）畠敷2号マンホールポンプ設置工事		
執行年度	令和 7 年度	諸経費区分	下水道ポンプ場 令和06年度
工種区分	機械設備	変更回数	
単価適用年月日	令和 7年 5月 1日付 公共	単価地区	49:三次市(旧甲奴町を除く)
機損適用年月日	令和 6年度 公共・林道	歩掛適用年月日	令和 6年 8月 下水道

補正情報

施工地域及び 工事場所による補正率	共通仮設費 …………… 補正なし 現場管理費 …………… 補正なし
現場環境改善費	設定区分無し
冬期補正	設定区分無し
緊急工事補正	緊急工事補正無
前払支出割合区分	3 5 %を超える場合
契約保証に係る補正	発注者が金銭的保証を必要とする場合

公共下水道事業（公07-4-5）畠敷2号マンホールポンプ設置工事

総 括 表						
費 目 ・ 工 種 ・ 種 別 ・ 細 目	数 量	単 位	単 価	金 額	明細単価番号	摘 要
工事費	1	式				
本工事費	1	式				
機械設備01	1	式				
電気設備01	1	式				
合計						

本 工 事 費 内 訳 書

費 目 ・ 工 種 ・ 種 別 ・ 細 目	数 量	単 位	単 価	金 額	明細単価番号	摘 要
機械設備01	1	式				
【機器費】	1	式				
機器費(設計技術費対象外)	1	式				
水中ポンプ 0.3m3×9.1m 65×1.5k w	2	台				
予旋回槽 2号マンホール用 FRP製	1	基				
【据付工事】	1	式				
材料費	1	式				
直接材料費	1	式				
吐出管 SUS304およびSUS304TPsch20s	1	式				
ボール式逆止弁 10KF 65A (S C S / N B R)	2	個				
ボール弁 (止水弁) 10KF 65A (S C S / SUS)	2	個				
空気抜弁 25	2	個				

本 工 事 費 内 訳 書

費 目 ・ 工 種 ・ 種 別 ・ 細 目	数 量	単 位	単 価	金 額	明細単価番号	摘 要
可とう管 偏心量：100mm	1	式				
流入バップル SUS304	1	式				
埋設表示シート 150mm	0.6	m				
フランジ蓋 100A JIS10k f SUS304	1	枚				
中間スラブ FRP 2号人孔対応型	1	式				
補助材料費	1	式				
労務費	1	式				
一般労務費	1	式				
設備機械工	1	人				
配管工	6	人				
はつり工	1	人				
普通作業員	1	人				

本 工 事 費 内 訳 書

費 目 ・ 工 種 ・ 種 別 ・ 細 目	数 量	単 位	単 価	金 額	明細単価番号	摘 要
機械設備据付労務費	1	式				
機械設備据付工標準賃金	2	人				
複合工費	1	式				
コンクリート 人力打設 小型構造物	0.3	m3			P 1 号	18-8-40高炉60% 一般養生
モルタル練 高炉	0.01	m3			P 2 号	
下水処理設備用モルタル工 外仕上げ(厚2cm)	0.04	m2			施 1 号	据付
直接経費	1	式				
機械経費(率化)	1	式				
機械経費	1	式				
<作>トラッククレーン(油圧伸縮ジブ型) 4.9t吊,オペレータ付	1	日				
仮設費(率化)	1	式				
直接工事費計(据付工事)	1	式				

本 工 事 費 内 訳 書						
費 目 ・ 工 種 ・ 種 別 ・ 細 目	数 量	単 位	単 価	金 額	明細単価番号	摘 要
共通仮設費計	1	式				
共通仮設費(率化)	1	式				
共通仮設費率分	1	式				
純工事費	1	式				
現場管理費	1	式				
据付間接費	1	式				
据付工事原価	1	式				
設計技術費	1	式				
工事原価	1	式				
一般管理費等	1	式				
工事価格	1	式				
消費税等相当額	1	式				

本 工 事 費 内 訳 書

費 目 ・ 工 種 ・ 種 別 ・ 細 目	数 量	単 位	単 価	金 額	明細単価番号	摘 要
合計						

本 工 事 費 内 訳 書						
費 目 ・ 工 種 ・ 種 別 ・ 細 目	数 量	単 位	単 価	金 額	明細単価番号	摘 要
電気設備01	1	式				
【機器費】	1	式				
機器費(設計技術費対象外)	1	式				
マンホールポンプ制御盤 SUS製屋外装柱型	1	面				
自動通報装置 LTE通信回線	1	台				
投込式水位計	1	組				
フロートスイッチ	1	個				
【据付工事】	1	式				
材料費	1	式				
直接材料費	1	式				
低圧ケーブル	1	式			単 1 号	
その他電線	1	式			単 2 号	

本 工 事 費 内 訳 書

費 目 ・ 工 種 ・ 種 別 ・ 細 目	数 量	単位	単 価	金 額	明細単価番号	摘 要
電線管類	1	式			単 3 号	
接地材 アース棒 14×1500L	1	本				
接地材 リード端子 14用	1	本				
接地埋設標	1	枚				
埋設標識シート 150mmポリエチレンクロス2倍	10	m				
引込柱 コンクリート柱 8.0m 8-19-4.3	1	本				
自在バンド IBT-212	5	個				
コンクリート根かせA形 1000×170×140	1	個				
CP用足場ボルト	8	本				
補助材料費	1	式				
労務費	1	式				
はつり工	1	人				

本 工 事 費 内 訳 書

費 目 ・ 工 種 ・ 種 別 ・ 細 目	数 量	単 位	単 価	金 額	明細単価番号	摘 要
電 工	11	人				
普通作業員	1	人				
電気通信技術者	4	人				
複合工費	1	式				
引込柱基礎工	1	式				
コンクリート 人力打設 無筋・鉄筋構造物	0.2	m3			P 3 号	18-8-40高炉60%小型 養生無し
モルタル練 高炉	0.01	m3			P 2 号	
下水処理設備用モルタル工 外仕上げ(厚2cm)	0.6	m2			施 1 号	据付
型枠 一般型枠 鉄筋・無筋構造物	1	m2			P 4 号	
機械掘削工(バックホウ) 加圧型 0.28m3	2	m3			施 2 号	
機械投入埋戻工(バックホウ) 加圧型 0.28m3 土質区分:好質土	1	m3			施 3 号	流用土
土砂等運搬 小規模 バックホウ山積0.28m3(平積0.2m3) 土砂	0.2	m3			P 5 号	10.0km以下 DID区間無 損耗費(良好)含む

本 工 事 費 内 訳 書						
費 目 ・ 工 種 ・ 種 別 ・ 細 目	数 量	単 位	単 価	金 額	明細単価番号	摘 要
建設発生土受入費 砂・砂質土・礫質土 (有)M7設備東山区内建設発生土受入地	0.2	m3				受入地 三次市山家町
ガードレール設置工	1	式				
防護柵(ガードレール)設置工 土中建込 塗装 Gr-C-4E 曲線部無	3	m			施 4 号	規模21m未満 時間制約無 夜間作業無
直接経費	1	式				
機械経費(率化)	1	式				
仮設費(率化)	1	式				
直接工事費計(据付工事)	1	式				
共通仮設費計	1	式				
共通仮設費(率化)	1	式				
共通仮設費率分	1	式				
純工事費	1	式				
現場管理費	1	式				

本 工 事 費 内 訳 書

費 目 ・ 工 種 ・ 種 別 ・ 細 目	数 量	単 位	単 価	金 額	明細単価番号	摘 要
据付(技術者)間接費	1	式				
据付(機器)間接費	1	式				
据付工事原価	1	式				
設計技術費	1	式				
工事原価	1	式				
一般管理費等	1	式				
工事価格	1	式				
消費税等相当額	1	式				
合計						

公共下水道事業（公07-4-5）畠敷2号マンホールポンプ設置工事

【 第 1 号 単価表 】							1 式 当り
低圧ケーブル							
名 称 ・ 規 格	数 量	単位	単 価	金 額	明細単価番号	摘 要	
動力引込用ケーブル 600V VVR 5.5mm2 3c	7.8	m					
動力引込用ケーブル 600V VVR 5.5mm2 2c	7.4	m					
雑 品	1.5	%					
計							
単位当たり							

公共下水道事業（公07-4-5）畠敷2号マンホールポンプ設置工事

【 第 2 号 単価表 】						
その他電線						
1 式 当り						
名 称 ・ 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	明細単価番号	摘 要
接地用絶縁電線 IV 5.5mm2	2.8	m				
雑 品	1.5	%				
計						
単位当たり						

公共下水道事業（公07-4-5）畠敷2号マンホールポンプ設置工事

【 第 3 号 単価表 】							1 式 当り
電線管類							
名 称 ・ 規 格	数 量	単位	単 価	金 額	明細単価番号	摘 要	
波付硬質合成樹脂管 FEP30	36.3	m					
厚鋼電線管 G22	2	本					
厚鋼電線管 G28	3	本					
硬質ビニル電線管 VE16	1	本					
雑 品	100	%					
計							
単位当たり							

三次市

【 第 2 号 施工単価表 】						
機械掘削工(バックホウ) 加-ラ型 0.28m3						100 m3 当り
名 称 ・ 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	明細単価番号	摘 要
土木一般世話役	1.9	人				
普通作業員	5	人				
バックホウ運転 加-ラ型 山積0.28m3(平積0.2)	11.1	時間				排対型:2次基準 損料補正なし
諸 雑 費 （丸め）	1	式				
計						
単位当たり						

【 第 3 号 施工単価表 】						
機械投入埋戻工(バックホウ) 加-ラ型 0.28m3 土質区分:㍻質土 (流用土 ,)						100 m3 当り
名 称 ・ 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	明細単価番号	摘 要
土木一般世話役	2.5	人				
普通作業員	3.8	人				
流用土	133.3	m3				
バックホウ運転 加-ラ型 山積0.28m3(平積0.2)	7.6	時間				排対型:2次基準 損料補正なし
タンバ締固め	100	m3			P 6 号	
諸 雑 費 (丸め)	1	式				
計						
単位当たり						

三次市

【 第 1 号 施工パッケージ 】							
コンクリート 人力打設 小型構造物 (18-8-40高炉60% ,一般養生)							
名 称 ・ 規 格	金額構成比(%)	金 額	構成比(%)	基準地区単価	積算地区単価	明細単価番号	摘 要
【労務】			42.01				
普通作業員			22.75				
土木一般世話役			9.31				
特殊作業員			7.89				
その他(労務)							
【材料】			57.99				
レディーミクストコンクリート指定品 18-8-40 W/C(60%) ,高炉			57.99				
【端数調整】							
[条件]							
[J1] = 2 構造物種別 小型構造物			[J9] = 3 打設工法 人力打設				
[N1] = 32 コンクリート規格 18-8-40(高炉)W/C60%			[J5] = 2 養生工の種類 一般養生				
[J7] = 2 現場内小運搬の有無 無し			[JB] = 1 費用の内訳 全ての費用				
[N3] = 1 生コン小型車割増 小型車割増なし							

【 第 2 号 施工パッケージ 】 モルタル練 高炉							
1 m3 当り							
名 称 ・ 規 格	金額構成比(%)	金 額	構成比(%)	基準地区単価	積算地区単価	明細単価番号	摘 要
【労務】			83.30				
普通作業員			55.43				
土木一般世話役			27.71				
その他(労務)							
【材料】			16.70				
セメント(袋) 高炉B種 25kg/袋			11.28				
コンクリート用砂 細目(洗い)			5.42				
【端数調整】							
[条件] [J1] = 2 セメント種類 高炉 [y1] = 1 砂規格 砂細目(洗い)			[J3] = 1 費用の内訳 全ての費用				

【 第 3 号 施工パッケージ 】								1	m3 当り
コンクリート 人力打設 無筋・鉄筋構造物									
(18-8-40高炉60%小型 ,養生無し)									
名 称 ・ 規 格	金額構成比(%)	金 額	構成比(%)	基準地区単価	積算地区単価	明細単価番号	摘 要		
【労務】			27.04						
普通作業員			11.44						
特殊作業員			7.77						
土木一般世話役			6.06						
その他(労務)									
【材料】			72.96						
レディーミクストコンクリート指定品 18-8-40 W/C(60%) ,高炉			72.96						
【端数調整】									
[条件]									
[J1] = 1 構造物種別 無筋・鉄筋構造物			[J9] = 3 打設工法 人力打設						
[N1] = 32 コンクリート規格 18-8-40(高炉)W/C60%			[J5] = 1 養生工の種類 養生無し						
[J7] = 2 現場内小運搬の有無 無し			[JB] = 1 費用の内訳 全ての費用						
[N3] = 2 生コン小型車割増 小型車割増あり									

【 第 4 号 施工パッケージ 】 型枠 一般型枠 鉄筋・無筋構造物							
1 m2 当り							
名 称 ・ 規 格	金額構成比(%)	金 額	構成比(%)	基準地区単価	積算地区単価	明細単価番号	摘 要
【労務】			100.00				
型わく工			46.19				
普通作業員			25.55				
土木一般世話役			9.57				
その他(労務)							
【端数調整】							
[条件] [J1] = 1 型枠の種類 一般型枠			[J2] = 1 構造物の種類 鉄筋・無筋構造物				

【 第 5 号 施工パッケージ 】							
土砂等運搬 小規模 バックホウ山積0.28m3(平積0.2m3) 土砂 (10.0km以下 DID区間無 , 雑損耗費(良好)含む)							1 m3 当り
名 称 ・ 規 格	金額構成比(%)	金 額	構成比(%)	基準地区単価	積算地区単価	明細単価番号	摘 要
【機械】			24.45				
ダンプトラック[オート・ディーゼル] 4t積級			24.45				
【労務】			63.42				
運転手（一般）			63.42				
【材料】			12.13				
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油			12.13				
【端数調整】							
[条件] [J1] = 2 土砂等発生現場 小規模 [J3] = 1 土質 土砂(岩塊・玉石混り土含む) [JD] = 10 運搬距離 10.0km以下			[J2] = 5 積込機種・規格 バックホウ山積0.28m3(平積0.2m3) [J4] = 1 DID区間の有無 DID区間無				

<div> <div>【 第 6 号 施工パッケージ 】</div> <div>タンパ締固め</div> <div>1 m3 当り</div> </div>							
名 称 ・ 規 格	金額構成比(%)	金 額	構成比(%)	基準地区単価	積算地区単価	明細単価番号	摘 要
【機械】			1.24				
<賃>タンパ(ランマ) 質量60～80kg			1.24				
【労務】			97.05				
特殊作業員			51.22				
普通作業員			45.83				
【材料】			1.71				
ガソリン,レギュラー スタンド渡し,スタンド給油			1.71				
【端数調整】							
[条件] [J1] = 1 費用の内訳 全ての費用							

三
島

次
敷

市
町

(機 械 ・ 電 気 設 備 工 事)

数 量 計 算 書

参考文献①:下水道用設計標準歩掛表 -第2巻ポンプ場・処理場- 令和4年度/公益社団法人日本下水道協会
参考文献②:公共建築工事標準単価積算基準 令和4年改定/国土交通省大臣官房官庁営繕部

1. 機械設備 機器・材料表

(1) 機器品目

名 称	規 格 、 形 状 、 寸 法	単 位	数 量	質 量 (t)	備 考
水中汚水汚物ポンプ	改良ハクログ型 ヘルマウス付	台	2.00	0.246	0.123t/台
	φ 65×0.300m ³ /min×9.1m×1.5kW				着脱装置含む
予旋回槽	φ 1200 FRP製	基	1.00	0.025	
輸送質量(t)				0.271	

(2) 直接材料

名 称	規 格 、 形 状 、 寸 法	単 位	数 量	備 考
ステンレス鋼鋼管	SUS304sch20 25A	kg	2.04	0.88m
ステンレス鋼鋼管	SUS304sch20 65A	kg	50.86	8.01m
ステンレス鋼鋼管	SUS304sch20 100A	kg	12.65	1.15m
小配管付属材料		式	1.00	
仕切弁	JIS10k 65A	個	2.00	
	ボール式 SCS/SUS			
逆止弁	JIS10k 65A	個	2.00	
	ボール式 SCS/NBR			
空気抜弁	φ 25 ねじ込み式	個	2.00	
	空気抜弁			
可とう管	JIS10k 100A	個	1.00	
	偏心量100mm			
流入バップル	φ 250用 1000L	組	1.00	11.9kg/組
	SUS製(取付金具含む)			
流入バップル	φ 200用 1800L	組	1.00	14.27kg/組
	SUS製(取付金具含む)			
流入バップル	φ 200用 3100L	組	1.00	24.58kg/組
	SUS製(取付金具含む)			
埋設表示シート	150mm	0.6	m	
フランジ蓋		枚	1.00	
中間スラブ	FRP 2号人孔対応型	式	1.00	

2. 直接労務員数、複合工、仮設工集計表

① 直接労務員数

職 種 工 種	機械設備 据付工	一 般 労 務 費								備 考
		設 備 機 械 工	配 管 工	は っ り 工	電 工	普通作業員	溶 接 工			
機器・材料据付工	2.049	0.275				0.228				
鑄鉄管布設工										
鑄鉄管弁類布設工										
小配管据付工			6.720							
複合工・仮設工				0.310						
鋼管布設工										
	2.049	0.275	6.720	0.310		0.228				
計	2 人	1 人	6 人	1 人		1 人				

② 複 合 工

項 目	単 位	数 量	項 目	単 位	数 量	項 目	単 位	数 量	項 目	単 位	数 量
無筋コンクリート	m ³	0.29	掘 削	m ³		砂基礎 埋戻砂	m ³				
モルタル充填工	m ³	0.01	埋 戻	m ³		殻運搬処理	m ³				
モルタル仕上(1:2)	m ²	0.04	発生土処理	m ³		管路土留工	m				
鋼 材 加 工	t		舗装切断	m							
は っ り	m ³		舗装破碎	m ²							
型 枠 工	m ²		表層工	m ²							
砕 石 基 礎	m ³		路盤工	m ²							

③ 仮 設 材

数 量
足 場

3. 機器・材料据付工計算書

	機 器 名 称	数 量	種 別	単位質量 t／台	歩 掛		据 付 人 工							質 量 (t)	備 考
					人／台	補 正 率	第1類	第2類	第3類	第4類	第5類	第6類	第7類		
	水中汚水汚物ポンプ	2	2	0.123	0.940	1.1		2.068						0.246	着脱装置含む
	予旋回槽	1	6	0.025	0.190	1.1						0.209		0.025	
	流入バップル	1	7	0.012	0.060	1.1							0.066	0.012	
	流入バップル	1	7	0.014	0.070	1.1							0.077	0.014	
	流入バップル	1	7	0.025	0.120	1.1							0.132	0.025	
				計				2.068				0.209		0.322	質量合計
				機械設備据付工 × 0.9				1.861				0.188		2.049	
				普通作業員 × 0.1				0.207				0.021		0.228	
				設備機械工 × 1.0									0.275	0.275	

※参考文献①:P.95

類別歩掛り表

機器等の類別	第1類	第2類	第3類	第4類	第5類	第6類	第7類
据付工（人） X：1台当り質量 （t）	12.2X ^{0.711}	4.8X ^{0.776}	14.2X ^{0.676}	4.8X	—	7.5X	4.9X

■撤去工事における歩掛り

既設物の撤去工事歩掛りは、標準歩掛りに対して以下を適用する。

1）再使用する撤去物 標準歩掛りの60%

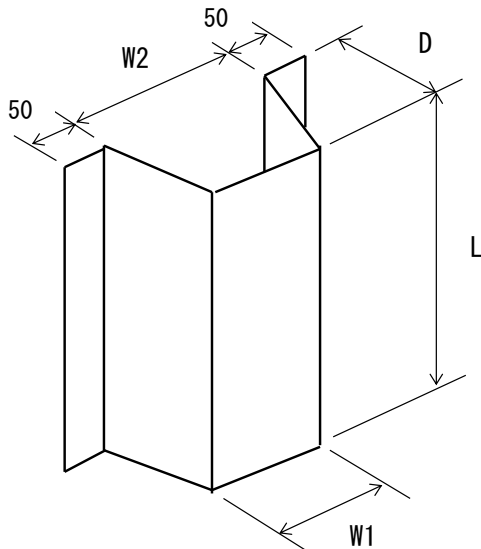
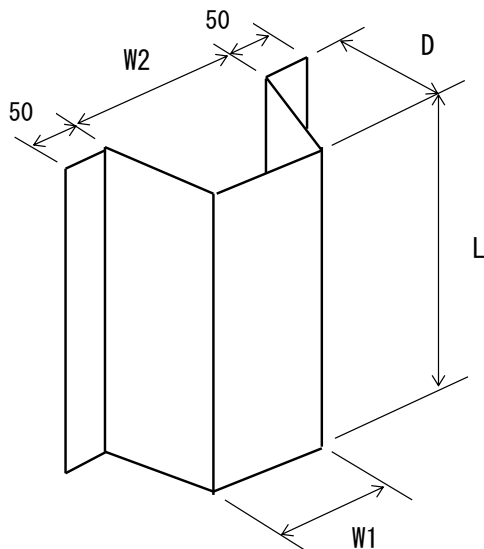
2）再使用しない撤去物 標準歩掛りの40%

※撤去物を再使用しない場合で、撤去対象物の標準歩掛りに機械設備据付工を掲げているときは機械設備据付工を設備機械工と読み替える。

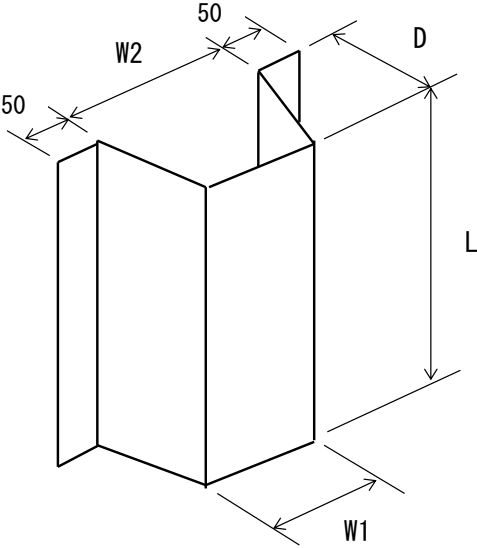
注)補正率は、下表より適用 ※参考文献①:P.88

区分	作業種別	補正率	適用基準	今回
危険作業	悪環境における作業	0.2	毒ガスの発生するおそれのある場所及び危険物、劇薬物を保管している場所又は施工に作業性の悪い場所	
	高所又は地下における作業	0.1	地表又は床面より5m以上又は地下2m以上の場所	○
作業工程上制約がある作業	複雑な制約がある作業	0.4	次の制約条件がある場合 (1)競合	
	単純な制約がある作業	0.2	(2)停電等による作業能率低下	
錯綜場所	錯綜があるところでの作業	0.3	機器まわり、管廊等で特に錯綜する場所	
深夜間	夜間作業		関係通達による。	
	深夜作業		(同上)	

鋼製加工品類計算書

No.	1	名称	流入バツフル					数量	1	No.	2	名称	流入バツフル					数量	1
<div></div> <div>流入管径 φ 250 PL2t SUS304 7.93 g/cm³ D= 150 W1= 350 W2= 400 L= 1000</div>										<div></div> <div>流入管径 φ 200 PL2t SUS304 7.93 g/cm³ D= 100 W1= 200 W2= 250 L= 1800</div>									
鋼材 SUS304	計算		単位	鋼材 数量	鋼材 比重	質量 (kg)	数量	計 (kg)	鋼材 SUS304	計算		単位	鋼材 数量	鋼材 比重	質量 (kg)	数量	計 (kg)		
PL2t	{ (50+150) × 2+350 } × 1000 × 2 × 10 ⁻³		cm ³	1500	7.93	11.9	1	11.9	PL2t	{ (50+100) × 2+200 } × 1800 × 2 × 10 ⁻³		cm ³	1800	7.93	14.27	1	14.27		
			cm ³									cm ³							
			cm ³									cm ³							
			cm ³									cm ³							
合計								11.9	合計								14.27		

鋼製加工品類計算書

No.	3	名称	流入バップル					数量	1	No.						数量	
<div><p>流入管径 φ 200 PL2t SUS304 7.93 g/cm³ D= 100 W1= 200 W2= 250 L= 3100</p></div>										<div><p>流入管径 PL2t SUS304 7.93 g/cm³ D= W1= W2= L=</p></div>							
鋼材 SUS304	計算	単位	鋼材 数量	鋼材 比重	質量 (kg)	数量	計 (kg)	鋼材 SUS304	計算	単位	鋼材 数量	鋼材 比重	質量 (kg)	数量	計 (kg)		
PL2t	$\{(50+100) \times 2 + 200\} \times 3100 \times 2 \times 10^{-3}$	cm ³	3100	7.93	24.58	1	24.58	PL2t		cm ³		7.93					
		cm ³								cm ³							
		cm ³								cm ³							
		cm ³								cm ³							
合計							24.58	合計									

4. 配管据付人工数計算書

① 小配管据付工（ステンレス鋼鋼管、塩化ビニル管据付） 参考文献①:P.98

管 種	ス テ ン レ ス 鋼 鋼 管									塩 化 ビ ニ ル 管								
場 所	屋 内 露 出 配 管			屋 外 露 出 配 管			屋 外 埋 設 配 管			給 水 用 屋 内 配 管			給 水 用 屋 外 配 管			排 水・通 気 用 配 管		
口 径 (mm)	設計数量 (m)	単位歩掛 (人/m)	配 管 工 (人)	設計数量 (m)	単位歩掛 (人/m)	配 管 工 (人)	設計数量 (m)	単位歩掛 (人/m)	配 管 工 (人)	設計数量 (m)	単位歩掛 (人/m)	配 管 工 (人)	設計数量 (m)	単位歩掛 (人/m)	配 管 工 (人)	設計数量 (m)	単位歩掛 (人/m)	配 管 工 (人)
13		—			—			—			0.08			0.06			—	
15		0.17			0.13			0.07			—			—			—	
20		0.20			0.16			0.09			0.09			0.07			—	
25	1.08	0.24	0.26		0.19			0.11			0.11			0.08			—	
30		—			—			—			0.13			0.10			—	
32		0.29			0.23			0.12			—			—			—	
40		0.35			0.28			0.15			0.15			0.12			0.11	
50		0.42			0.33			0.19			0.18			0.14			0.15	
65	8.83	0.53	4.68		0.42			0.21			0.22			0.17			0.19	
75		—			—			—			0.26			0.20			0.22	
80		0.63			0.50			0.24			—			—			—	
100	1.50	0.78	1.17		0.62			0.35			0.32			0.25			0.28	
125		0.96			0.76			0.45			0.39			0.31			0.34	
150		1.14			0.91			0.54			0.46			0.36			0.41	
200		1.50			1.20			0.75			—			—			0.53	
250		1.86			1.48			1.00			—			—			0.66	
300		2.22			1.77			1.27			—			—			0.79	
350		2.58			2.20			1.50			—			—			—	
計			6.11															

② ま と め

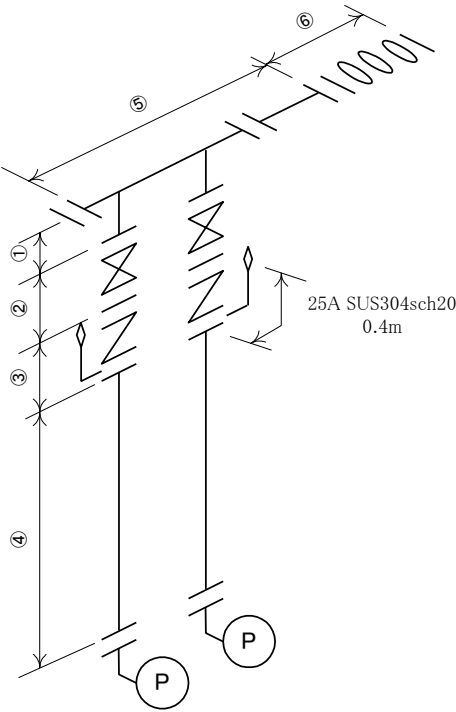
	人 工 数	備 考
配管工	6.72	6.11×1.1(地下作業)

※参考文献①:P.88

- ・墨出し、切断、ねじ切り、ねじ込み、管接合、支持材料の取付け及び弁類取付けを含む。
- ・ソケット、ベンド等で一般的に必要なものの取付け人工は、本歩掛りに含まれる。
- ・フランジ接合の場合も本歩掛りを使用できるものとする。尚、フランジ接合の場合のフランジ、ボルト、ナット等は、付属材料費率で算出できるものとする。
- ・屋外配管歩掛りには根切り、埋戻し等の土木工事は含まない。
- ・水压検査等は、本歩掛りに含まれる。
- ・溶接検査歩掛り(フランジ溶接、高圧配管以外のつき合せ溶接)は本歩掛りに含まれる。
- ・支持材料の架台・Uボルト等は、付属材料費率で算出できるものとする。
- ・既設管廊内、及び既設機器設置場所での作業は、30%上乘せるものとする。但し、補正率表錯綜場所の補正率は適用しないものとする。

5.拾い出し根拠表

管種	口径 (A)	算出式	実数量 (m)	設計数量 (m)	単位質量 (kg/m)	設計数量 (kg)	付属材料 (kg)	仕切弁		逆止弁		可とう管				配管工 数量 (m)
								数量 (個)	面間寸法 (m)	数量 (個)	面間寸法 (m)	数量 (個)	面間寸法 (m)	数量 (個)	面間寸法 (m)	
SUS304sch20	25	0.400×2	0.80	0.88	2.32	2.04	2.86			2	0.10					1.08
SUS304sch20	65	$(0.200 + 3.438) \times 2$	7.28	8.01	6.35	50.86	71.20	2	0.19	2	0.22					8.83
SUS304sch20	100		1.15	1.15	11.00	12.65	17.71					1	0.35			1.50



寸法表

番号	口径	名称	寸法(mm)
①	65	SUS304sch20	200
②	65	仕切弁 ボール式 SCS/SUS	190
③	65	逆止弁 ボール式 SCS/NBR	220
④	65	SUS304sch20	3438
⑤	100	SUS304sch20	1147
⑥	100	可とう管 100mm偏心	350
⑦			
⑧			
⑨			
⑩			

設計数量 = 実数量 × 1.0 (80A以上)
= 実数量 × (1 + 材料補完率 0.1) (65A以下)

付属材料 = 設計数量 × 付属材料費率

材 料 名		付属材料費率	備 考	
小鋼管 (350A以下) 付属材料	鋼管、塩化ビニル管等	1.70	管継手(エルボ、ベンド、チーズ、フランジ等)	0.55
			接続材料(ボルト、ナット、パッキン等)	0.10
			支持材料(形鋼サポート、Uボルト等及びそれらの塗装)	0.70
			塗装(上下各2回塗り、文字書きを含む。)	0.35
	ステンレス鋼管	1.40	管継手	1.15
			接合材料(ボルト、ナットSUS)	0.10
			支持材料(SS)	0.15
	塩化ビニルライニング 鋼管	2.30	管継手	1.90
			接合材料	0.05
			支持材料	0.25
			塗装	0.10

参考文献①:P.91

6. 複合工・仮設工集計表

[illegible]

1. 電気設備 機器・材料表

(1)機器品目

名 称	規 格 、 形 状 、 寸 法	単 位	数 量	質 量 (t)	備 考
ポンプ制御盤	装柱型 SUS 1.5kW 2台用	面	1.00	0.105	
	積算電力計内蔵				
無線式監視計	携帯電話通信網	台	1.00	0.005	
	アンテナ・専用ケーブル 付				
水位計	投込式 ケーブル20m	組	1.00	0.005	
フロートスイッチ	ケーブル20m	組	1.00	0.002	
輸送質量(t)				0.117	

(2)直接材料

名 称	規 格 、 形 状 、 寸 法	単 位	数 量	備 考
動力引込用ケーブル	VVR 5.5mm2×3心	m	7.81	
電灯引込用ケーブル	VVR 5.5mm2×2心	m	7.37	
接地用絶縁電線	IV 5.5mm2	m	2.75	
ケーブル・電線付属材料費		式	1.00	
電線管	FEP30	m	36.30	
電線管	G22	本	2.00	6.27÷3.66m/本 =1.71本
電線管	G28	本	3.00	8.36÷3.66m/本 =2.28本
電線管	VE16	本	1.00	1.65÷4.00m/本 =0.41本
電線管付属材料		式	1.00	
接地材料	リード端子付接地棒 φ14x1500L	本	1.00	
接地材料	リード端子 φ14用	本	1.00	
接地埋設標		枚	1.00	
埋設標識シート	150mmポリエチレンクロス2倍	m	10.00	
引込柱	コンクリート柱 8.0m	本	1.00	
装柱材	自在バンド(IBT-212)	ヶ	5.00	
装柱材	コンクリート根かせA形 1000×170×140	ヶ	1.00	
装柱材	CP用足場ボルト	本	8.00	

(3)ガードレール設置工

名 称	規 格 、 形 状 、 寸 法	単 位	数 量	備 考
ガードレール設置工	土中建込用	m	3.00	

2. 直接労務員数、複合工、仮設工集計表

① 直接労務員数

職 種 工 種	技術者 (据 付)	技術者 (単体調整)	技術者 (組合せ試験)	一 般 労 務 費						
				設 備 機 械 工	配 管 工	は っ り 工	電 工	普通作業員	溶 接 工	
据付工集計表	2.210	1.300					4.500			
試験工集計表			1.940							
材料集計表－1							2.138			
材料集計表－2							2.626			
材料集計表－3							2.470	0.957		
複合工・仮設工						0.540				
合計	2.210	1.300	1.940			0.540	11.734	0.957		
設計数量	2 人	1 人	1 人			1 人	11 人	1 人		

② 複 合 工

項 目	単位	数量	項 目	単位	数量	項 目	単位	数量	項 目	単位	数量
無筋コンクリート	m ³	0.19	掘 削	m ³	1.50	砂基礎 埋戻砂	m ³				
モルタル充填工	m ³	0.01	埋 戻	m ³	1.32	殻運搬処理	m ³				
モルタル仕上(1:2)	m ²	0.56	発生土処理	m ³	0.18	管路土留工	m				
鋼 材 加 工	t		舗装切断	m							
は っ り	m ³		舗装破碎	m ²							
型 枠 工	m ²	1.44	表層工	m ²							
砕 石 基 礎	m ³		路盤工	m ²							

③ 仮 設 材

数 量
足 場

3. 据付工集計表

機 器 名 称	形 状	単 位	数 量	技術者(据付)			技術者(単体調整)			電 工			参考文献①	機 器 質 量 (t)	
				単位歩掛	補正率	計	単位歩掛	補正率	計	単位工量	補正率	工量		頁	単位質量
ポ ン プ 制 御 盤	W600×H1750×D400	面	1	1.20	1.00	1.20				2.10	1.00	2.10	170 装柱型 現場操作盤8	0.105	0.105
水 位 計	発信器類	組	1	0.41	1.00	0.41	1.30	1.00	1.30	1.3	1.00	1.30	174 発信器類	0.005	0.005
フロートスイッチ	液位検出端	組	1	0.60	1.00	0.60				1.1	1.00	1.10	174 液位検出端	0.002	0.002

4. 試験工集計表

機 器 名 称	形 状	単 位	数 量	技術者(組合せ試験)		電 工		普 通 作 業 員		参考文献① 頁	機 器 質 量 (t)		備 考
				単位工量	工量	単位工量	工量	単位工量	工量		単 位 数 量	質 量	
ポ ン プ 制 御 盤	運転操作設備 動力制御盤	負荷	2	0.81	1.62					186			
水 位 計	発信器類 (制御なし)	ループ	1	0.32	0.32					186			
計					1.940								

5. 材料集計表(1)

[illegible]

5. 材料集計表(1)

[illegible]

5. 材料集計表(1)

[illegible]

6. 材料集計表(2)

[illegible]

6. 材料集計表(2)

[illegible]

7. 材料集計表(3)

		種 別	コンクリート柱	ケーブル 埋設シート		接地棒	接地埋設標						
		仕 様	8.0m			リード端子付 14 φ × 1.500L							
		単 位	本	m		本	枚						
No.	自	至											
1	引込点(200V)	ポンプ制御盤	1.00										
2	ポンプ制御盤	マンホール内(ポンプ)		10.00									
3	ポンプ制御盤	マンホール内(水位計)											
4	ポンプ制御盤	D種接地(動力)				1.00	1.00						
5	引込点(100V)	引込開閉器盤											
6													
7													
8													
9													
10													
計			1.00	10.00		1.00	1.00						
(1+補完率)			1.00	1.00		1.00	1.00						
設計数量			1.00	10.00		1.00	1.00						
設計数量合計			1.00	10.00		1.00	1.00						
補正率			1.00	1.00		1.00	1.00						
電 工		単位歩掛	1.740	0.004		0.18	0.51						電気合計
		工 量 (人)	1.740	0.040		0.180	0.510						2.470
普通作業員		単位歩掛	0.957										普通作業員合計
		工 量 (人)	0.957										0.957
技術者		単位歩掛											技術者合計
		工 量 (人)											
参考文献 頁			②:E47	①:178		①:184	①:184						

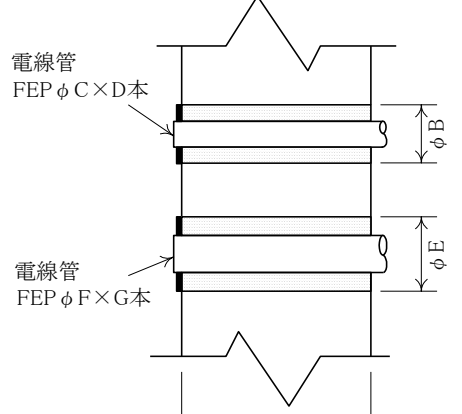
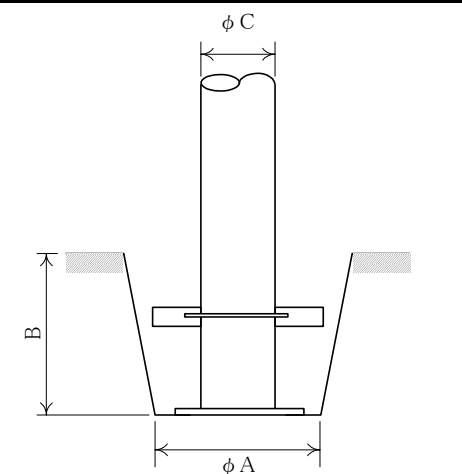
8. 拾い出し根拠表

①	配線区間		引込点(200V)～ポンプ制御盤						⑥	配線区間							
	ケーブル 600V VVR 5.5mm2 3心	ビットダクト			+	+	+	ケーブル		ビットダクト			+	+	+		
		ラック			+	+	+			ラック			+	+	+		
		管内	7.10	6.10	+	1.00	+			管内			+	+	+		
		FEP			+	+	+			FEP			+	+	+		
	接地線	管内			+	+	+	接地線		管内			+	+	+		
		FEP			+	+	+			FEP			+	+	+		
電線管	G28	露出	6.10	6.10	+	+	+	電線管		露出		+	+	+			
		埋設			+	+	+			埋設		+	+	+			
②	配線区間		ポンプ制御盤～マンホール内(ポンプ)						⑦	配線区間							
	ケーブル VCT 1.25mm2×4心 2PNCT 1.25mm2×2心 2PNCT 2mm2×1心	ビットダクト			+	+	+	ケーブル		ビットダクト			+	+	+		
		ラック			+	+	+			ラック			+	+	+		
		管内	3.00	(0.50	+	1.00	+			管内			+	+	+		
		FEP	22.00	(1.00	+	10.00	+			FEP			+	+	+		
	接地線	管内			+	+	+	接地線		管内			+	+	+		
		FEP			+	+	+			FEP			+	+	+		
電線管	G28	露出	1.00	(0.50	+	+	+	電線管		露出		+	+	+			
	FEP30	埋設	22.00	(1.00	+	10.00	+			埋設		+	+	+			
③	配線区間		ポンプ制御盤～マンホール内(水位計)						⑧	配線区間							
	ケーブル VCTFK 0.75mm2 3心 水位計専用ケーブル	ビットダクト			+	+	+	ケーブル		ビットダクト			+	+	+		
		ラック			+	+	+			ラック			+	+	+		
		管内	1.50	0.50	+	1.00	+			管内			+	+	+		
		FEP	11.00	1.00	+	10.00	+			FEP			+	+	+		
	接地線	管内			+	+	+	接地線		管内			+	+	+		
		FEP			+	+	+			FEP			+	+	+		
電線管	G28	露出	0.50	0.50	+	+	+	電線管		露出		+	+	+			
	FEP30	埋設	11.00	1.00	+	10.00	+			埋設		+	+	+			
④	配線区間		ポンプ制御盤～D種接地(動力)						⑨	配線区間							
	ケーブル	ビットダクト			+	+	+	ケーブル		ビットダクト			+	+	+		
		ラック			+	+	+			ラック			+	+	+		
		管内			+	+	+			管内			+	+	+		
		FEP			+	+	+			FEP			+	+	+		
	接地線 IV 5.5 mm2	管内	2.50	0.50	+	1.00	+	接地線		管内			+	+	+		
		FEP			+	+	+			FEP			+	+	+		
電線管	VE16	露出	0.50	0.50	+	+	+	電線管		露出		+	+	+			
	VE16	埋設	1.00	1.00	+	+	+			埋設		+	+	+			
⑤	配線区間		引込点(100V)～引込開閉器盤						⑩	配線区間							
	ケーブル 600V VVR 5.5mm2 2心	ビットダクト			+	+	+	ケーブル		ビットダクト			+	+	+		
		ラック			+	+	+			ラック			+	+	+		
		管内	6.70	5.70	+	1.00	+			管内			+	+	+		
		FEP			+	+	+			FEP			+	+	+		
	接地線	管内			+	+	+	接地線		管内			+	+	+		
		FEP			+	+	+			FEP			+	+	+		
電線管	G22	露出	5.70	5.70	+	+	+	電線管		露出		+	+	+			
		埋設			+	+	+			埋設		+	+	+			

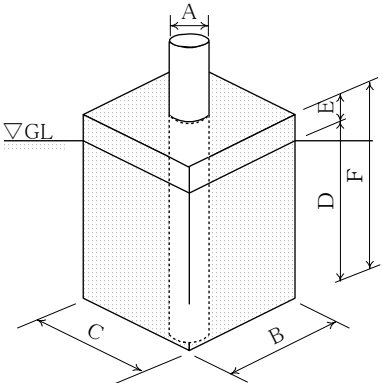
9. 複合工・仮設工集計表

[illegible]

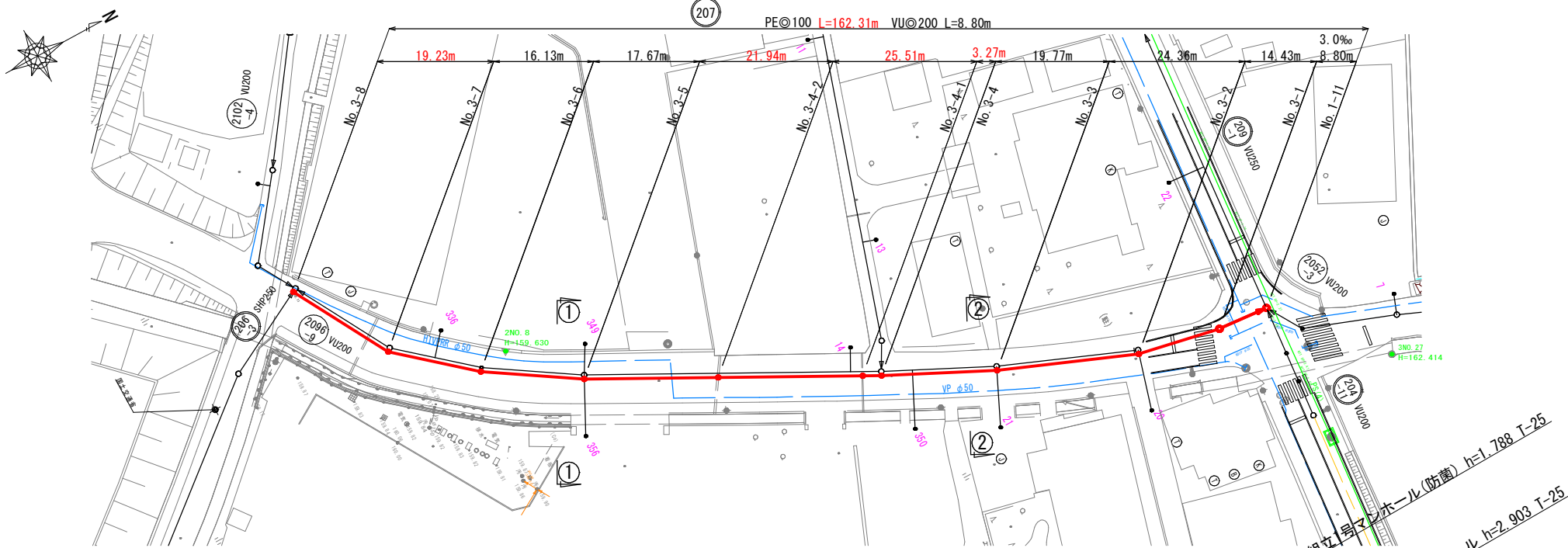
10. 複合工、仮設工計算書

			項 目	計 算 式	単位数量	数	量	項 目	計 算 式	単位数量	数	量							
No. 1	電線管貫通工	1ヶ所	コンクリート工		m ³	m ³		型枠工		m ²	m ²								
<div><div>電線管 FEPφC×D本</div><div>電線管 FEPφF×G本</div></div>		E= 0.100		モルタル 充填工					$\{(0.050^2-0.030^2)\times 1$ $+ (0.050^2-0.030^2)\times 2\}$ $\times (\pi/4)\times 0.100$			0.001	0.001	砕石		m ²	m ²		
		B= 0.050																	
		C= 0.030																	
		D= 1																	
		E= 0.050	モルタル 仕上工	$\{(0.050^2-0.030^2)\times 1$ $+ (0.050^2-0.030^2)\times 2\}$ $\times (\pi/4)$	0.004	0.004	掘削		m ³	m ³									
		F= 0.030																	
		G= 2																	
		H=																	
		I=	はつり工		箇所	箇所	埋戻		m ³	m ³									
		J=																	
		No. 2	引込柱建柱土工	1ヶ所	コンクリート工		m ³	m ³		型枠工		m ²	m ²						
		<div></div>		A= 1.200		モルタル 充填工					m ³			m ³	砕石		m ³	m ³	
				B= 1.330															
				C= 0.247															
D=																			
E=	モルタル 仕上工			m ²	m ²	掘削	$1.200^2\times (\pi/4)\times 1.330$	m ³	m ³										
F=																			
G=																			
H=																			
I=	発生土処理			1.504-1.324	m ³	m ³	埋戻	1.504 $-0.600\times 0.600\times 0.500$	m ³	m ³									
J=																			
K=																			

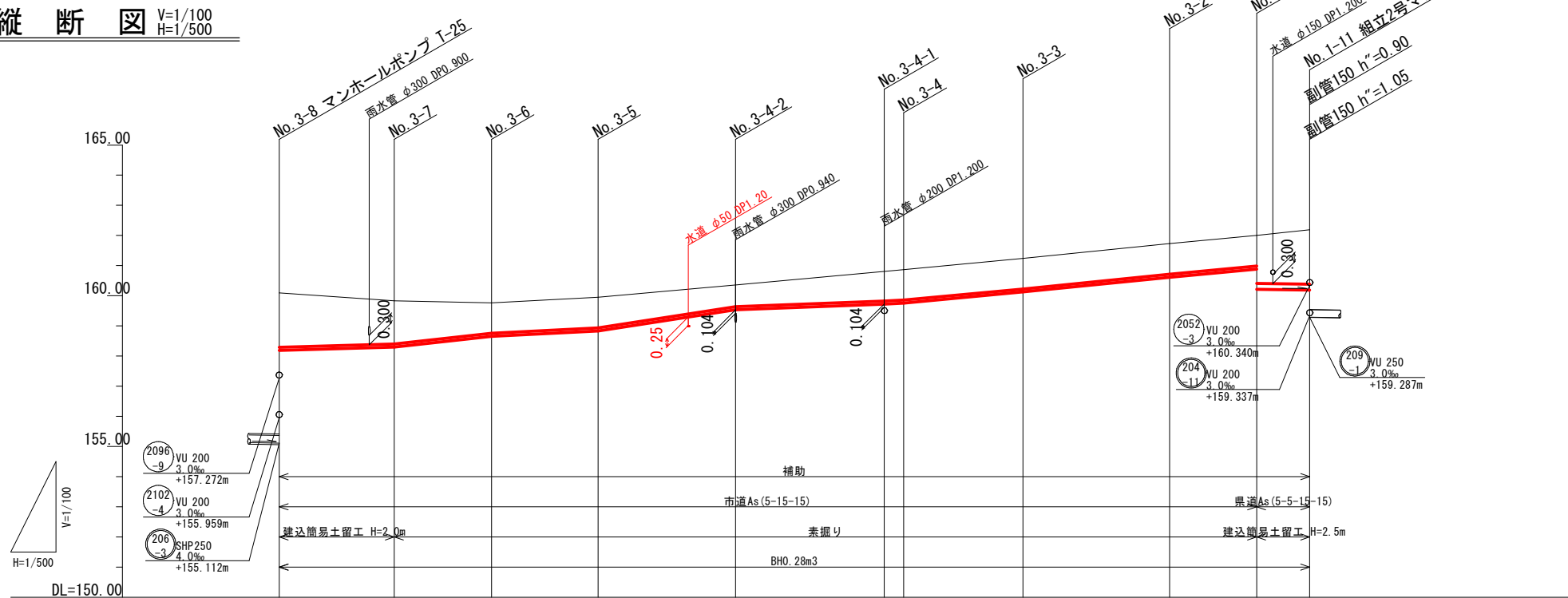
10. 複合工、仮設工計算書

			項 目	計 算 式	単位数量	数 量	項 目	計 算 式	単位数量	数 量
No. 3	引込柱基礎	1基	コン クリ ート 工	$0.600 \times 0.600 \times 0.600$ $- 0.247^2 \times (\pi/4) \times 0.600$	m ³	m ³	型 枠 工	$(0.600 + 0.600) \times 2 \times 0.600$	m ²	m ²
 <p>A= 0.247 B= 0.600 C= 0.600 D= 0.500 E= 0.100 F= 0.600 G= H= I= J=</p>			モル タル 充 填 工		m ³	m ³	砕 石		m ³	m ³
			モル タル 仕 上 工	$(0.600 + 0.600) \times 2 \times 0.100$ $+ 0.600 \times 0.600$ $- 0.247^2 \times (\pi/4)$	m ²	m ²	掘 削		m ³	m ³
			発 生 土 処 理		m ³	m ³	埋 戻		m ³	m ³
			コン クリ ート 工		m ³	m ³	型 枠 工		m ²	m ²
			モル タル 充 填 工		m ³	m ³	砕 石		m ³	m ³
			モル タル 仕 上 工		m ²	m ²	掘 削		m ³	m ³
			発 生 土 処 理		m ³	m ³	埋 戻		m ³	m ³
			コン クリ ート 工		m ³	m ³	型 枠 工		m ²	m ²
			モル タル 充 填 工		m ³	m ³	砕 石		m ³	m ³
			モル タル 仕 上 工		m ²	m ²	掘 削		m ³	m ³
			発 生 土 処 理		m ³	m ³	埋 戻		m ³	m ³
No. 4			コン クリ ート 工		m ³	m ³	型 枠 工		m ²	m ²
<p>A= B= C= D= E= F= G= H= I= J=</p>			モル タル 充 填 工		m ³	m ³	砕 石		m ³	m ³
			モル タル 仕 上 工		m ²	m ²	掘 削		m ³	m ³
			発 生 土 処 理		m ³	m ³	埋 戻		m ³	m ³
			コン クリ ート 工		m ³	m ³	型 枠 工		m ²	m ²
			モル タル 充 填 工		m ³	m ³	砕 石		m ³	m ³
			モル タル 仕 上 工		m ²	m ²	掘 削		m ³	m ³
			発 生 土 処 理		m ³	m ³	埋 戻		m ³	m ³
			コン クリ ート 工		m ³	m ³	型 枠 工		m ²	m ²
			モル タル 充 填 工		m ³	m ³	砕 石		m ³	m ³
			モル タル 仕 上 工		m ²	m ²	掘 削		m ³	m ³
			発 生 土 処 理		m ³	m ³	埋 戻		m ³	m ³
			コン クリ ート 工		m ³	m ³	型 枠 工		m ²	m ²
			モル タル 充 填 工		m ³	m ³	砕 石		m ³	m ³

平面図 S=1/500

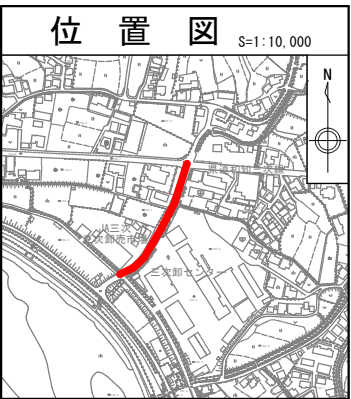
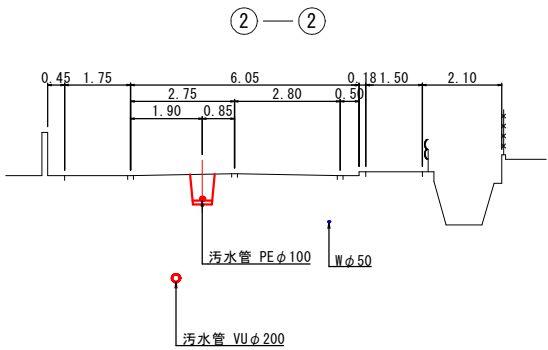
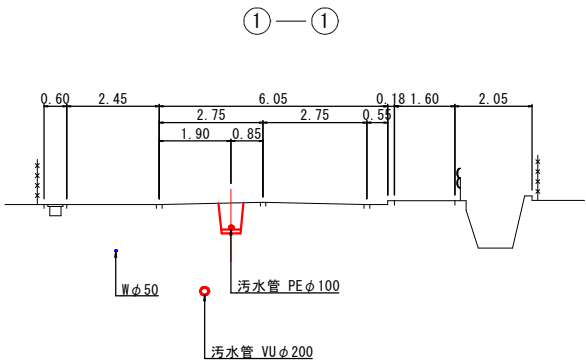


縦断図 V=1/100
H=1/500



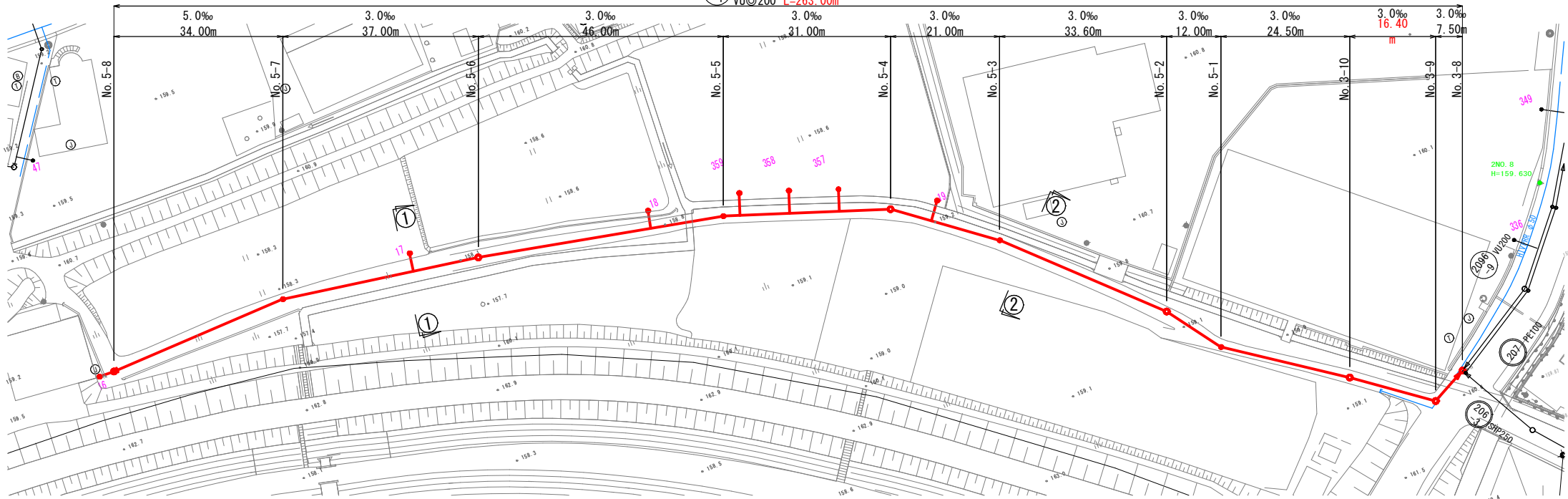
路線番号	207										
管径	PE 100 -9.3 VU 200										
勾配	-5.7	-22.3	-10.2	-28.70	-9.4	-9.2	-19.7	-20.1	-18.7	3.0	
区間距離	19.23	16.13	17.67	21.94	25.51	3.27	19.77	24.36	14.43	8.80	
地盤高	160.09	159.83	159.77	159.95	160.29	160.79	160.85	161.24	161.73	162.00	162.19
土被り	1.79	1.42	1.00	1.00	0.71	0.97	1.00	1.00	1.00	1.58	1.80
管底高	-158.187	-158.207	-158.657	-158.837	-159.467	-159.707	-159.737	-160.127	-160.617	-160.887	-160.186
掘さく深	2.02	1.65	1.23	1.23	0.94	1.20	1.23	1.23	1.23	1.90	2.11
追加距離	171.11	151.88	135.75	118.08	96.14	70.63	67.36	47.59	23.23	8.80	0.00

横断図 S=1/100

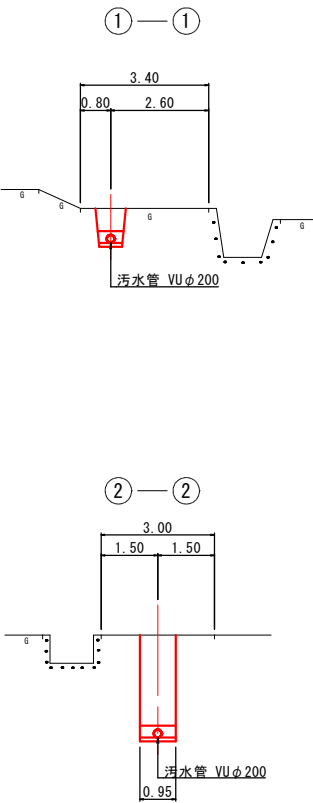


図面番号		縮尺	図示
工種	島敷2号マンホールポンプ 設置工事(公07-4-5)		
種別	平面図・縦断図・横断図	番号	/
路線名	207		
工事箇所	三次市島敷町地内		
三 次 市			

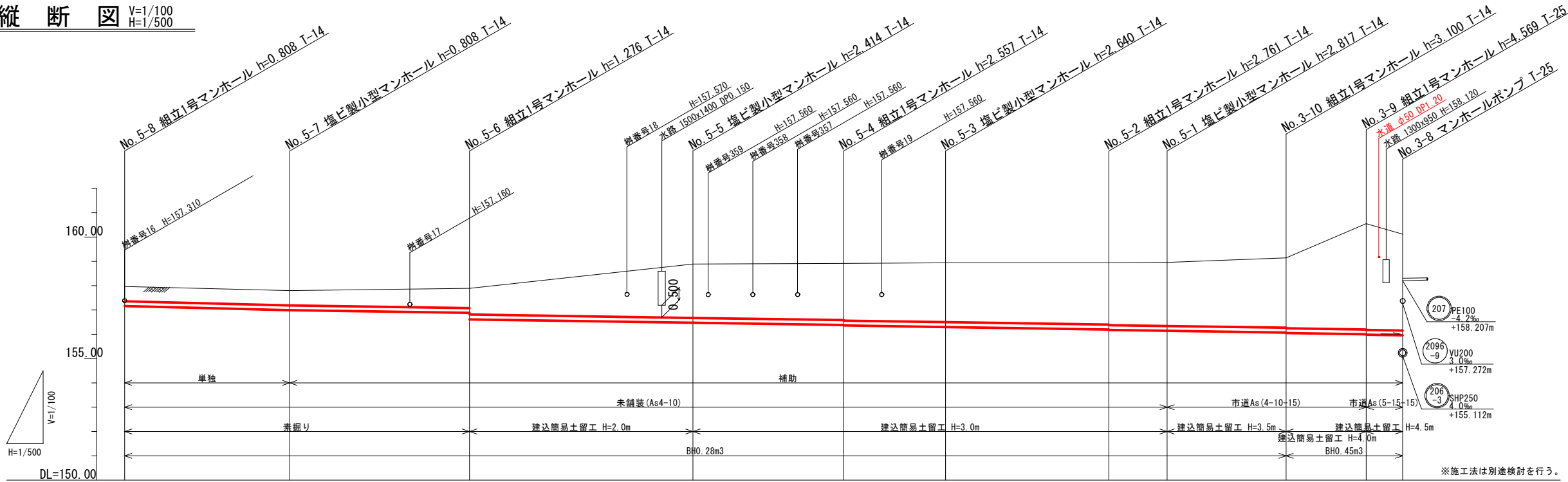
平面図 S=1/500



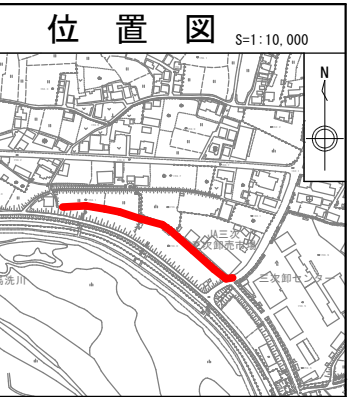
横断図 S=1/100



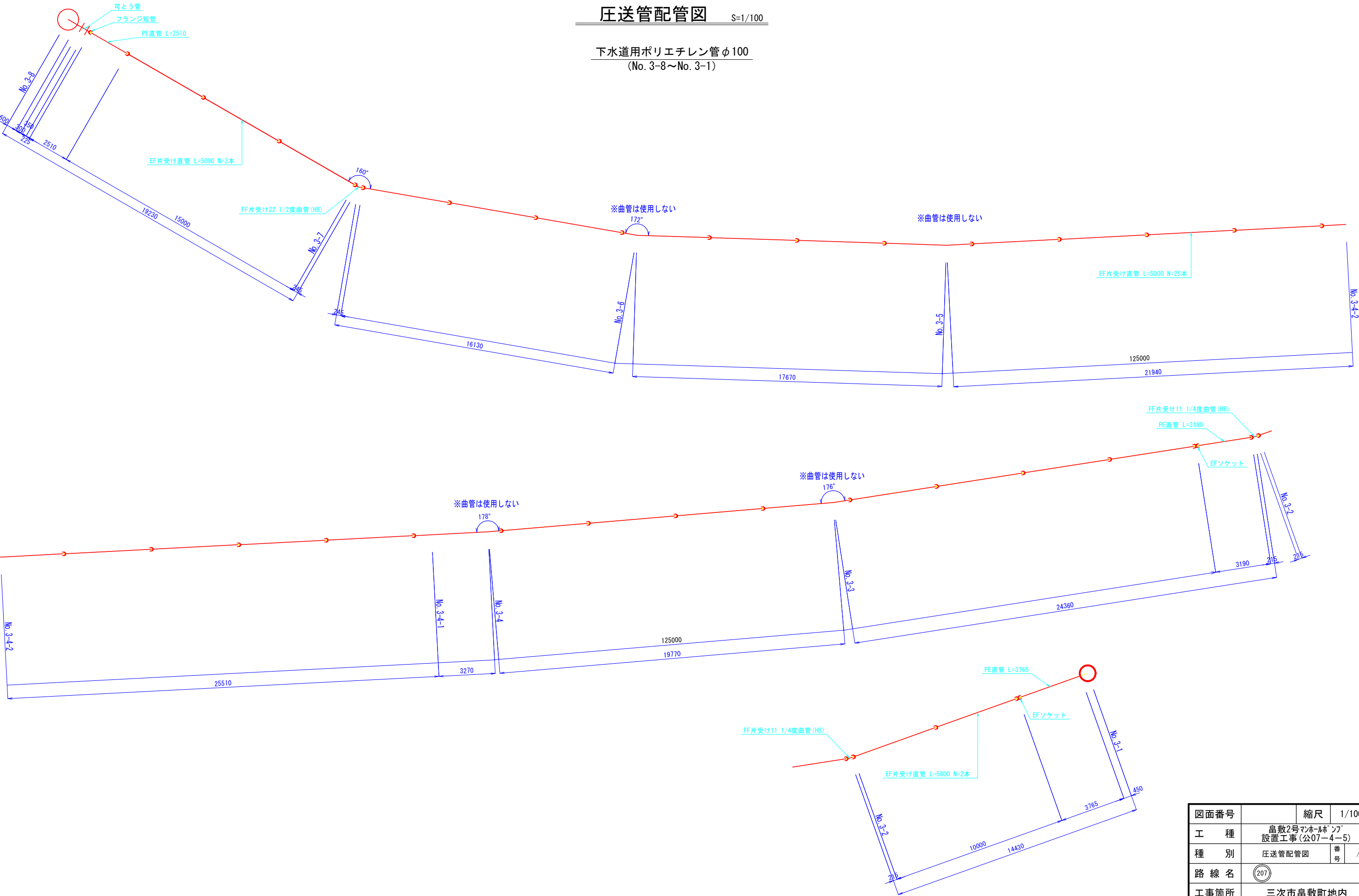
縦断図 V=1/100
H=1/500



路線番号	2102-4										
管径	VU200										
勾配	5.0		3.0								
区間距離	34.00	37.00	46.00	31.00	21.00	33.60	12.00	24.50	16.40	7.50	
地盤高	157.97	157.80	157.89	158.89	158.92	158.94	158.94	158.96	159.15	160.55	160.09
土被り	0.60	0.60	0.80 1.07	2.21	2.33 2.35	2.43	2.53 2.55	2.61	2.87 2.89	4.34 4.36	3.92
管底高	157.162	156.992	156.881 156.614	156.476	156.383 156.363	156.300	156.199 156.179	156.143	156.070 156.050	155.981 155.981	155.959
掘さく深	0.92	0.92	1.12 1.36	2.52	2.65 2.67	2.75	2.85 2.87	2.93	3.19 3.21	4.66 4.68	4.24
追加距離	263.00	229.00	192.00	146.00	115.00	94.00	60.40	48.40	23.90	7.50	0.00



図面番号		縮尺	図示
工種	敷数2号マンホールポンプ 設置工事(公07-4-5)		
種別	平面図・縦断図・横断図	番号	/
路線名	(2102 -4)		
工事箇所	三次市敷数町地内		
三 次 市			

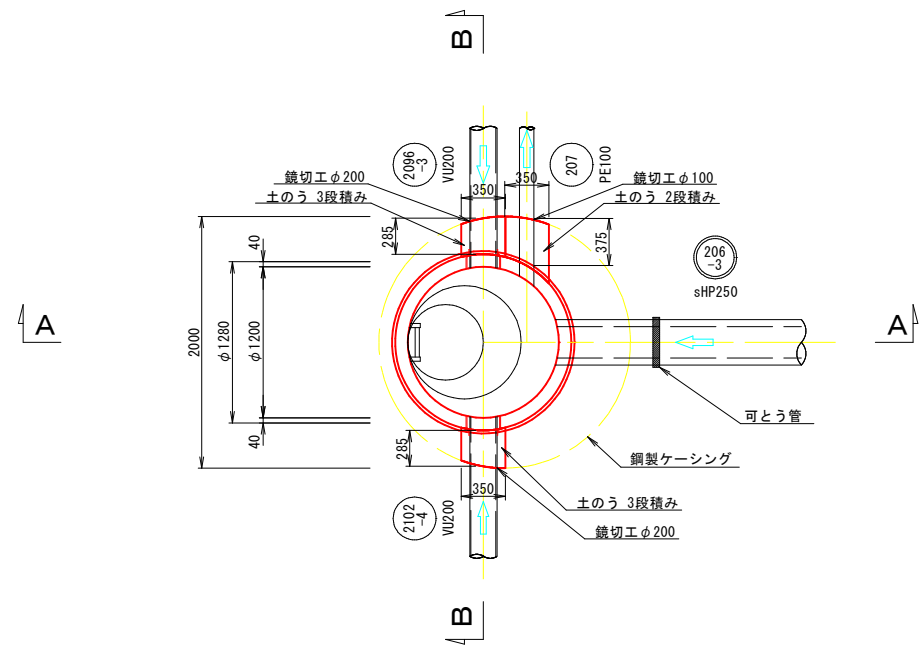


圧送管配管図 S=1/100
下水道用ポリエチレン管φ100
(No. 3-8~No. 3-1)

図面番号		縮尺	1/100
工 種	島敷2号マンホールポンプ 設置工事(公07-4-5)		
種 別	圧送管配管図	番 号	/
路 線 名	(207)		
工事箇所	三次市島敷町地内		
三 次 市			

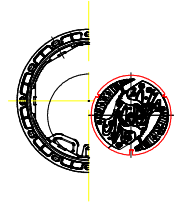
No. 3-8 組立2号マンホール構造図 S=1:30
(防菌コンクリート製)

平面図



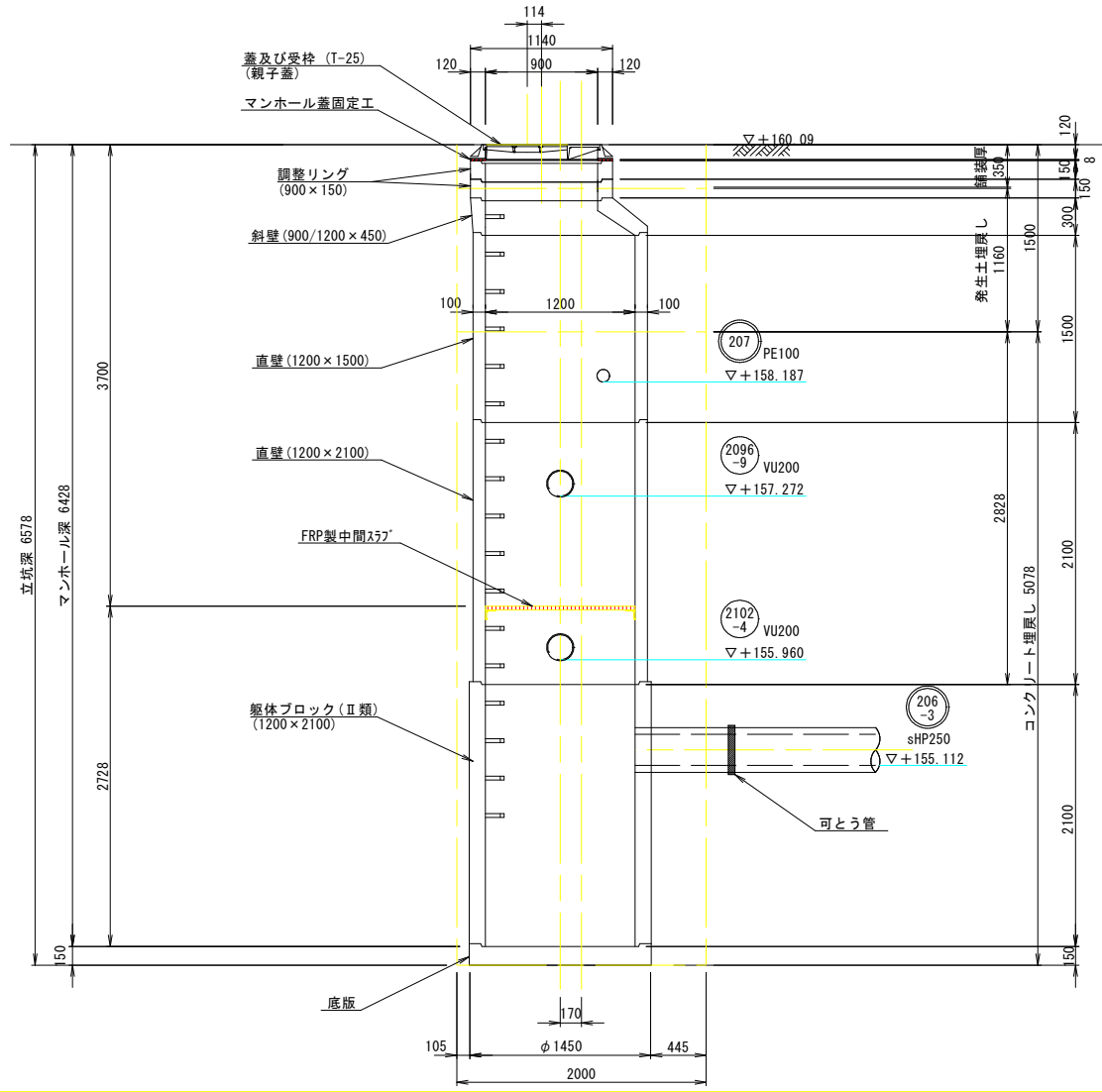
マンホール蓋詳細図 S=1:30

φ 900/600親子鉄蓋

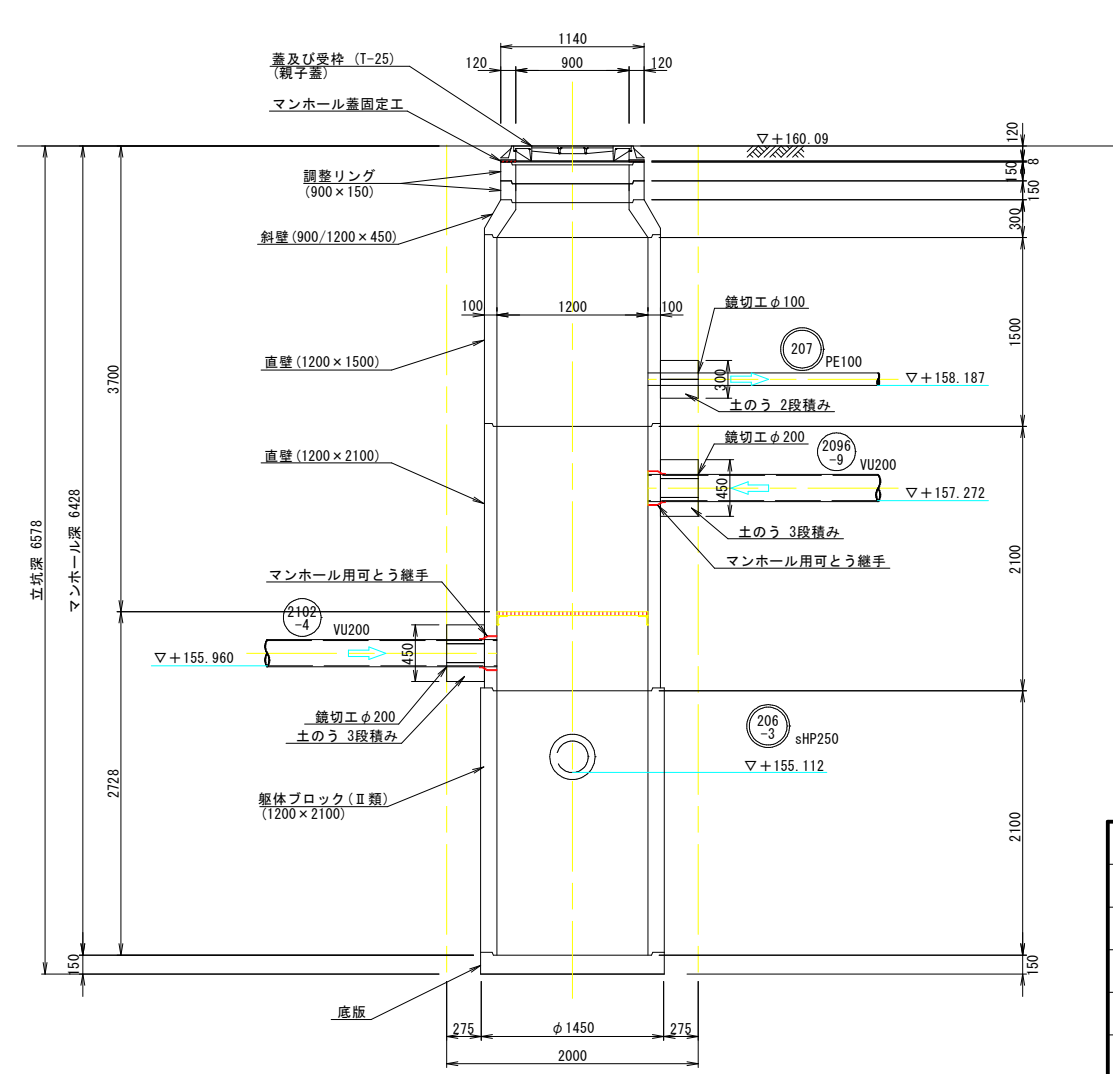


※マンホールの蓋は三次市指定（鵜飼いの絵柄）のものを使用すること。

A-A 断面図



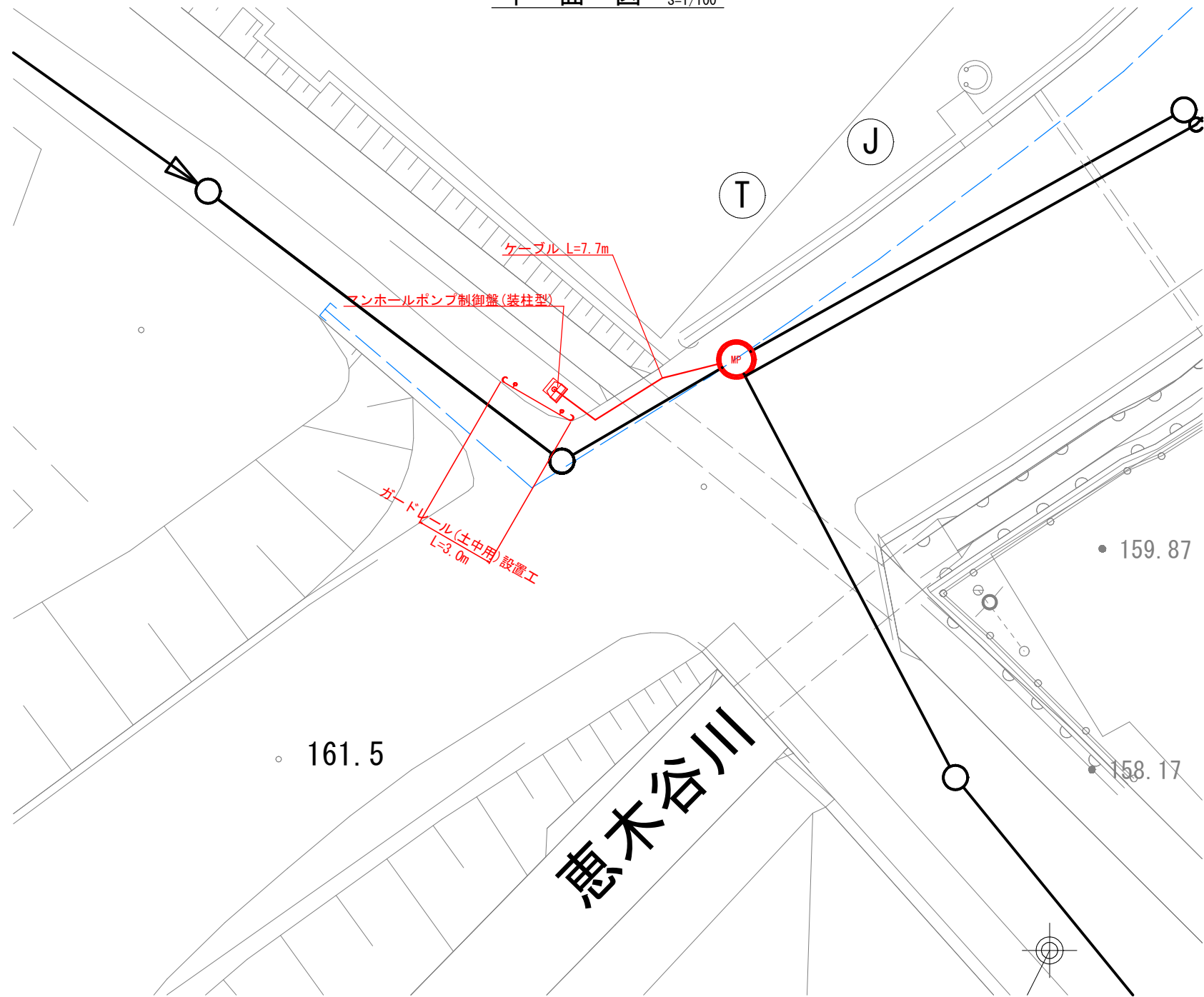
B-B 断面図



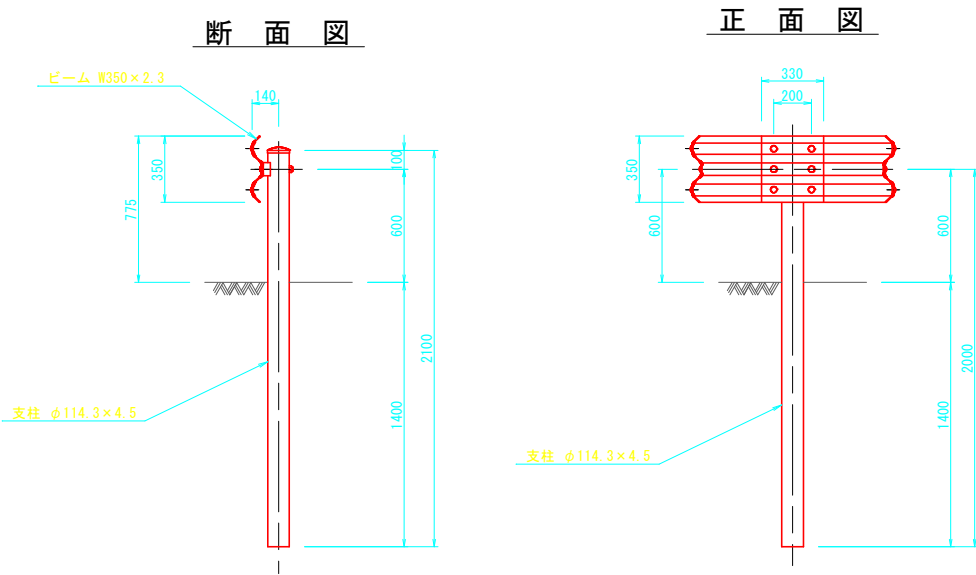
図面番号		縮尺	図 示
工 種	島数2号マンホールポンプ 設置工事(公07-4-5)		
種 別	No. 3-8 組立2号マンホール構造図	番 号	/
路 線 名			
工事箇所	三次市島数町地内		
三 次 市			

畠敷2号マンホールポンプ場配置計画図

平面図 S=1/100



ガードレール標準図 S=1/20
(土中用 Gr-C-4E)



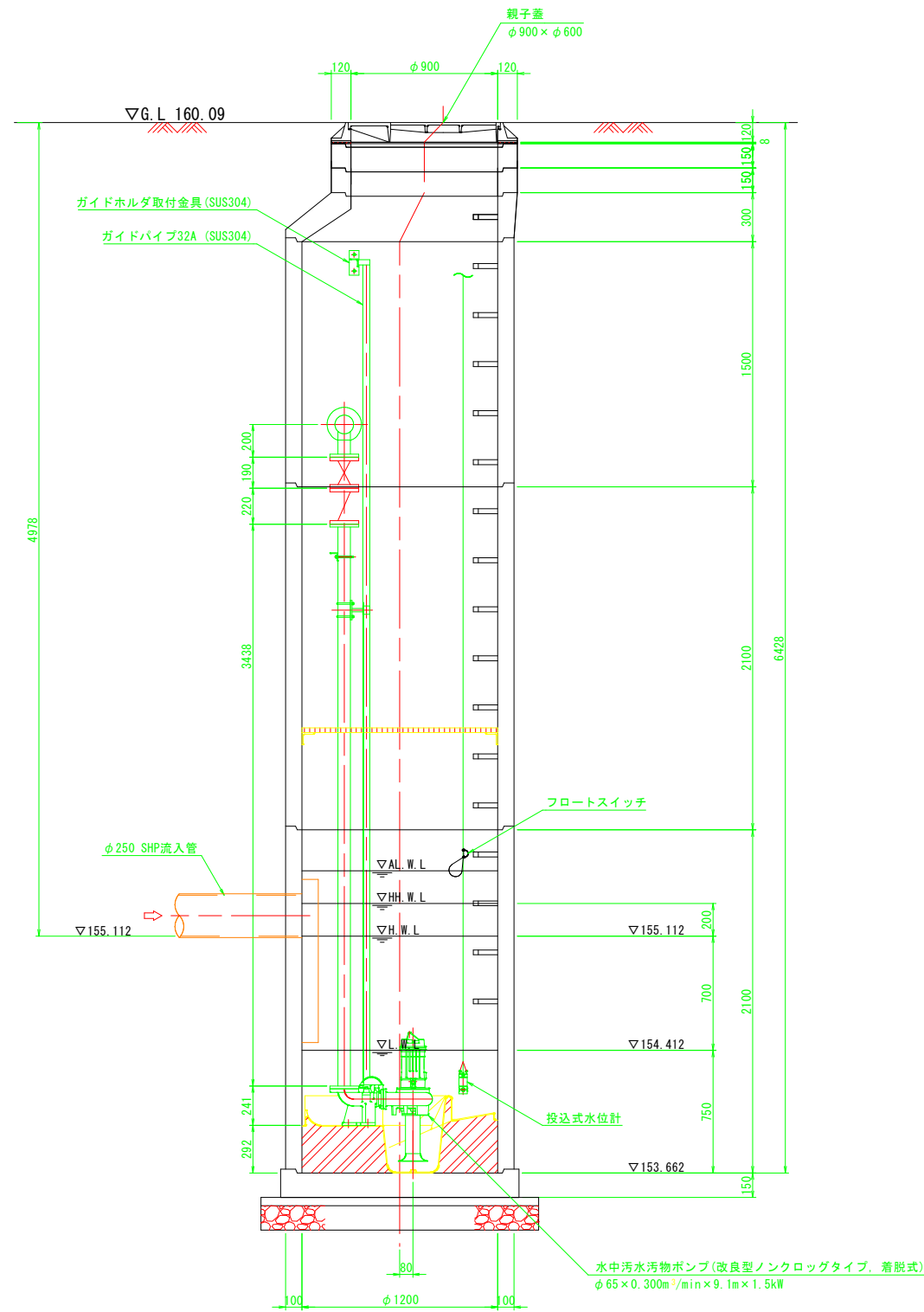
ガードレール寸法表

諸元 規格	ビーム			支柱				ブラケット			ビーム 中心 高さ (mm)	最大 中心 間隔 (mm)
	幅 (mm)	コ ル ゲ ー シ ョ ン (mm)	厚 さ (mm)	外 径 (mm)	厚 さ (mm)	埋 込 み 深 さ h (mm)	支 柱 長 さ h (mm)	幅 (mm)	コ ル ゲ ー シ ョ ン (mm)	厚 さ (mm)		
Gr-C-4E	350	50	2.3	φ114.3	4.5	1400	2100	70	31	4.5	600	4000

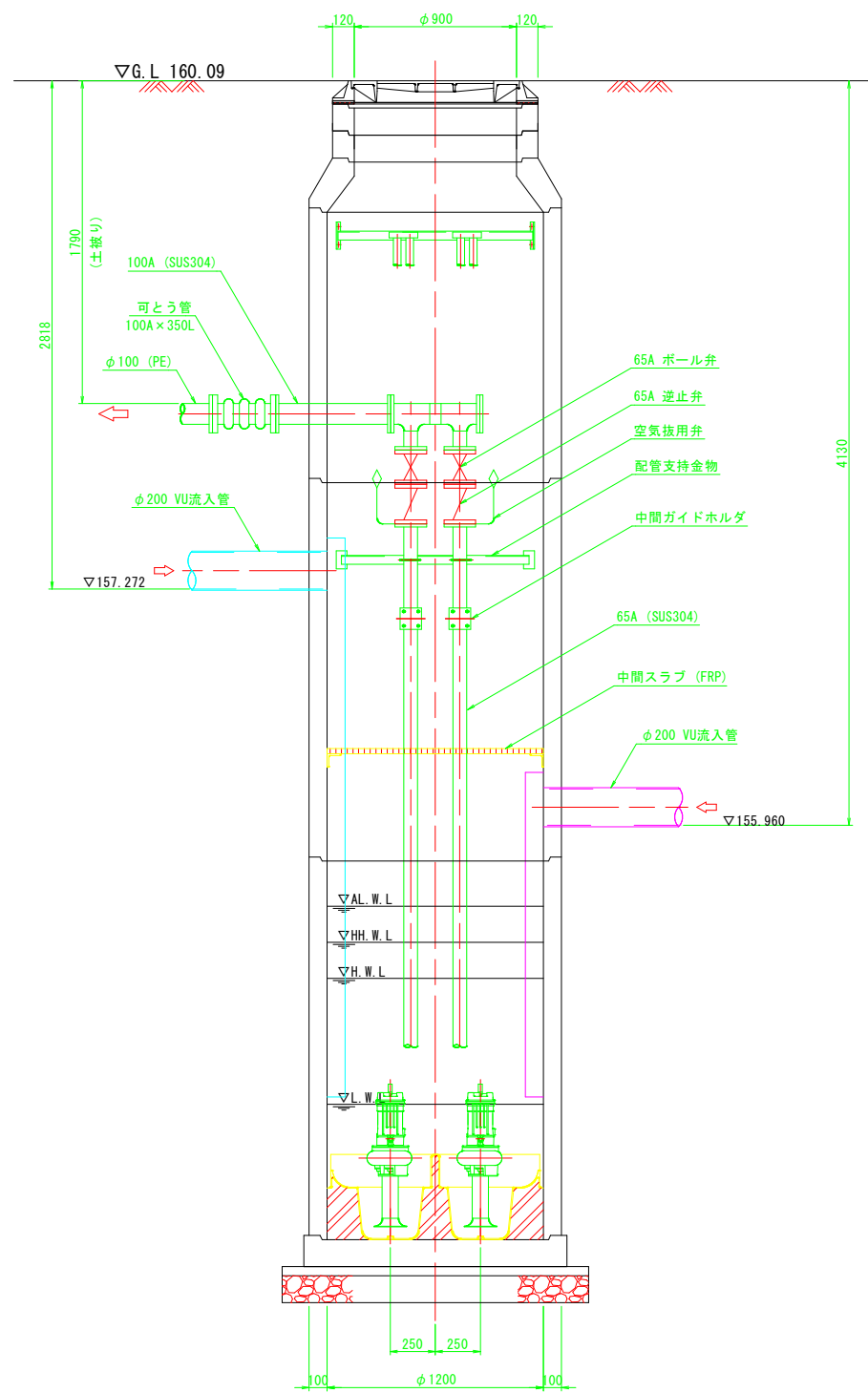
図面番号		縮尺	図示
工種	畠敷2号マンホールポンプ 設置工事(公07-4-5)		
種別	畠敷2号マンホールポンプ場 配置計画図	番号	/
路線名			
工事箇所	三次市畠敷町地内		
三 次 市			

畠敷2号マンホールポンプ図 S=1/20

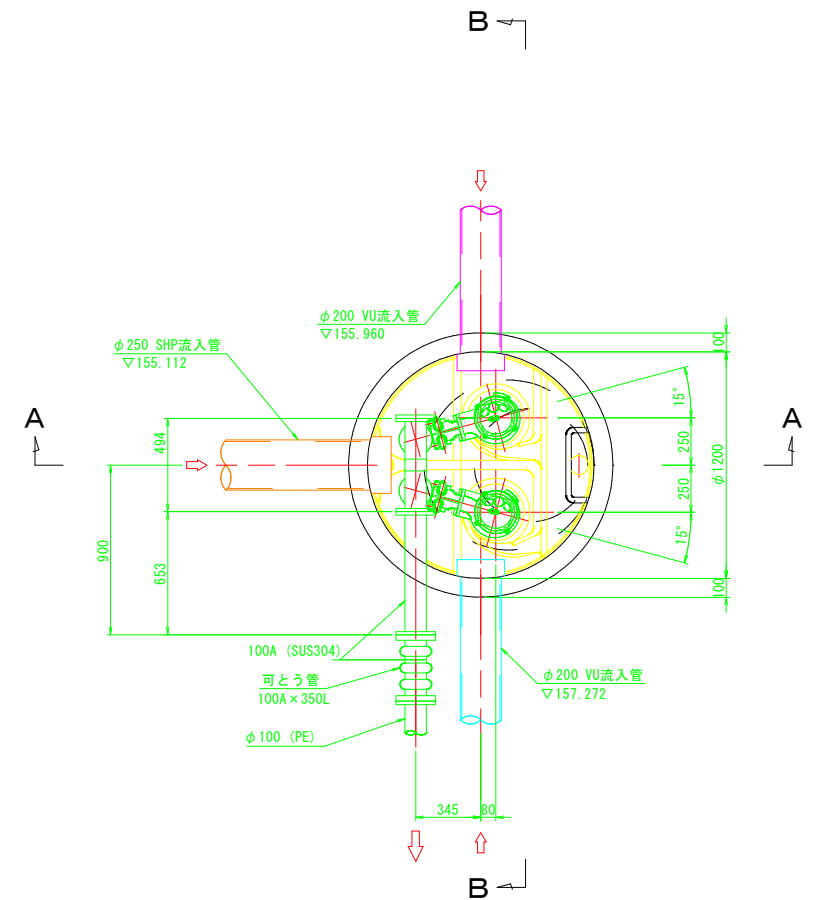
A-A断面図 S=1:20



B-B断面図 S=1:20



平面図 S=1:20

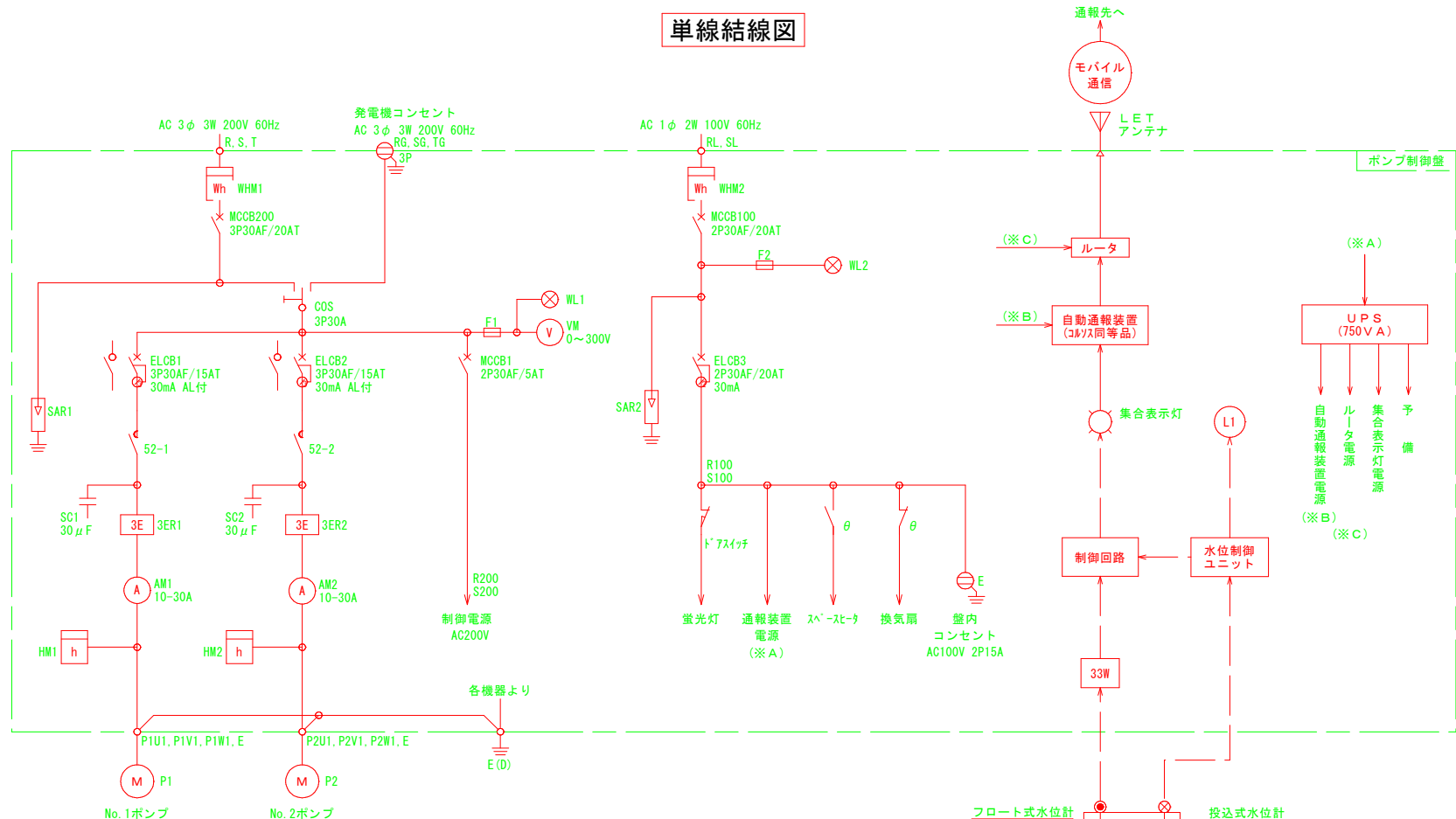


図面番号		縮尺	1/20
工 種	畠敷2号マンホールポンプ 設置工事(公07-4-5)		
種 別	畠敷2号マンホールポンプ図	番 号	
路 線 名			
工事箇所	三次市畠敷町内		
三 次 市			

畠敷2号マンホールポンプ設備図

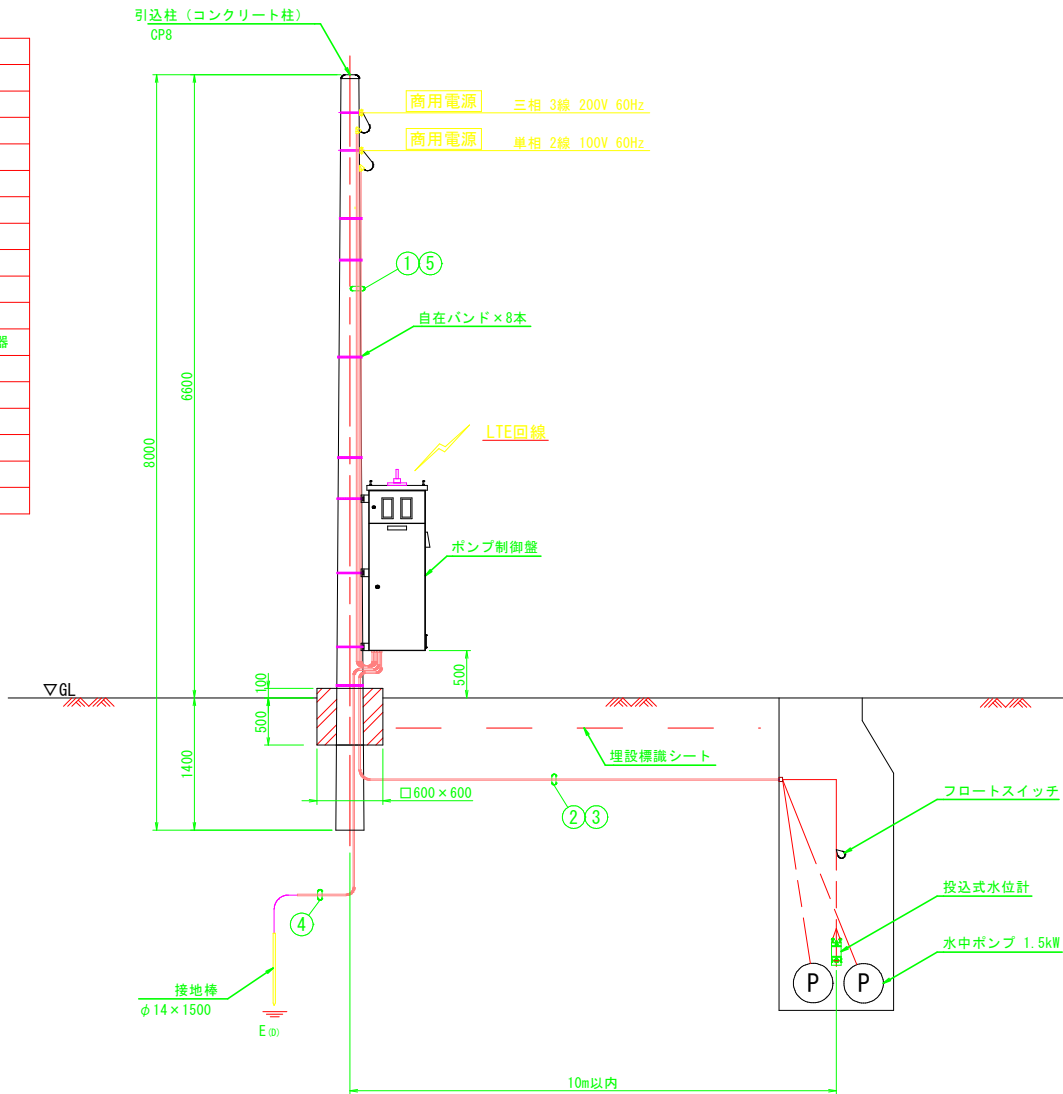
S=NonScale

単線結線図

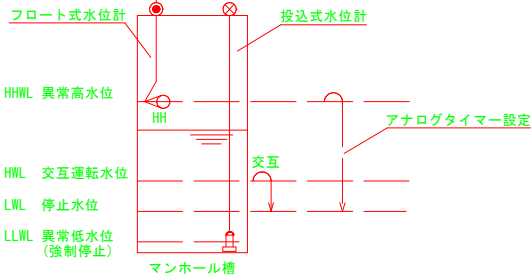
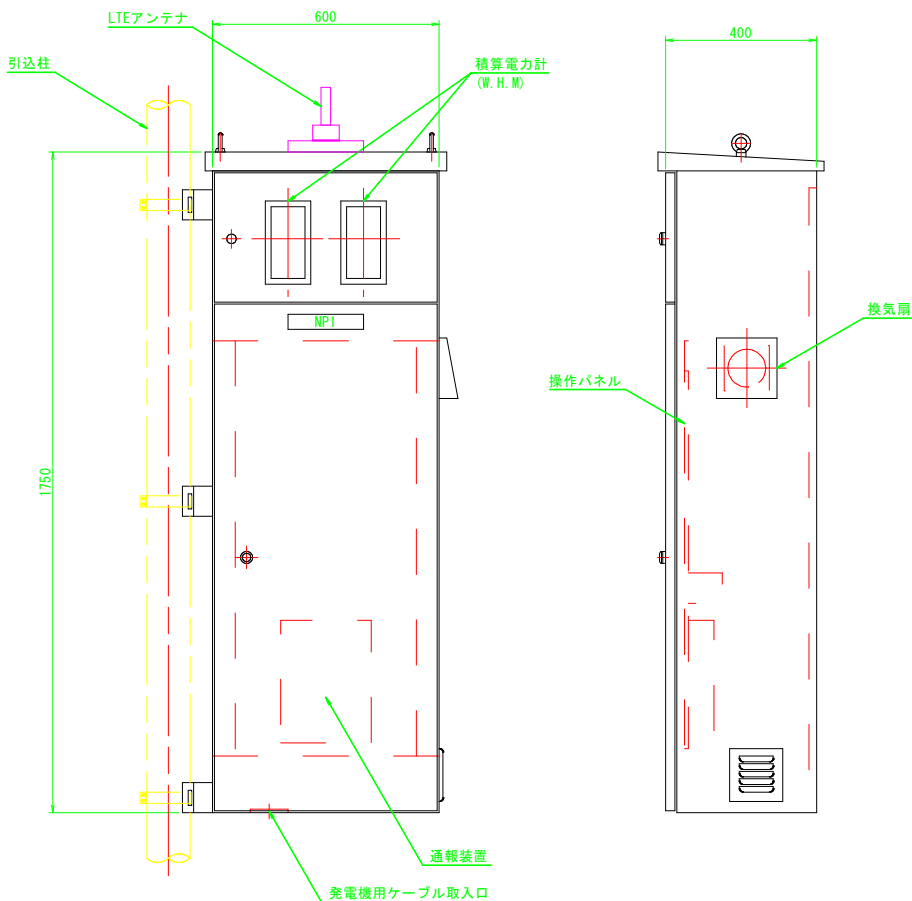


記号	名称
MCCB	配線用遮断器
ELCB	漏電遮断器
COS	切換えスイッチ
52	電磁接触器
WHM	電力量計
VM	電圧計
AM	電流計
HM	時間計 (運転時間計)
SC	進相コンデンサ
SAR	避雷器
3ER	過負荷・欠相・反相継電器
F	ヒューズ
M	電動機
P	ポンプ
E(D)	D種接地
WL	表示灯 (白色)
L1	水位指示計

動力引込図及び動力配線図



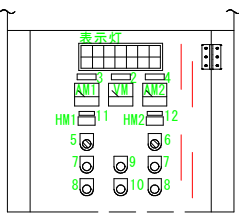
ポンプ制御盤



ネームプレート表

NP・No	記入文字
1	ポンプ場名称
2	電圧計
3	No. 1ポンプ
4	No. 2ポンプ
5	(No. 1ポンプ) 手動-切-自動
6	(No. 2ポンプ) 手動-切-自動
7	運転
8	停止
9	故障復帰
10	ランプテスト
11	No. 1時間計
12	No. 2時間計

操作パネル図 (S=1/10)



表示灯

AC200V 電源	No. 1 運転	No. 1 停止	No. 1 3E	No. 1 地絡	異常 高水位
AL.1	AL.1	AL.1	AL.1	AL.3	AL.5
AC100V 電源	No. 2 運転	No. 2 停止	No. 2 3E	No. 2 地絡	水位計 異常
AL.2	AL.2	AL.2	AL.2	AL.4	AL.6

配線表

No.	自	至	電線	電線管	
				露出	埋設
①	動力引込点 (200V)	ポンプ制御盤	VVR5. 5mm ² × 3心 × 1	G28	—
②	ポンプ制御盤	No. 1ポンプ 動力	VCT1. 25mm ² × 4心 × 1	G28	FEP30
		No. 2ポンプ 動力	VCT1. 25mm ² × 4心 × 1	G28	FEP30
③	ポンプ制御盤	投込式水位計	EPゴムケーブルφ8. 1 × 1	G28	FEP30
		フロートスイッチ	VCTFK0. 75mm ² × 3心 × 1		
④	ポンプ制御盤	接地棒 (動力)	1V5. 5mm ² × 1	VE16	VE16
⑤	動力引込点 (100V)	ポンプ制御盤	VVR5. 5mm ² × 2心 × 1	G22	—

図面番号		縮尺	図示
工 種	畠敷2号マンホールポンプ 設置工事 (公07-4-5)		
種 別	畠敷2号マンホールポンプ設備図	番号	
路 線 名			
工事箇所	三次市畠敷町内		
三 次 市			